



一步先に行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
“next step” for business leaders
and communities.



10

2025 Vol.175

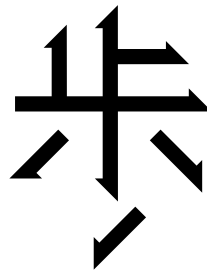
株式会社 福住 代表取締役社長 河野 孝雄 氏

株式会社 風雅 代表取締役社長 塚田 利郎 氏

株式会社 嬉野観光ホテル大正屋 代表取締役社長 山口 保 氏

地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
“next step” for business leaders
and communities.



いつも本誌をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

2008年に創刊いたしました「FFG調査月報」は今号で通巻175号を迎えました。

このたび、より親しみやすく、お客さまに寄り添った情報発信を目指し、
誌名を「一歩(いっぽ)」へと一新いたしました。

「一歩」には、地域とともに歩み、

未来へ向けて一歩ずつ前進していくという想いを込めています。

これまで以上に、地域経済や地域に根差した情報をお届けしてまいりますので、

今後とも変わらぬご愛読を賜りますようお願い申し上げます。

なお、誌面のデザインや内容についても、今後さらに充実させてまいります。

どうぞご期待ください。



リニューアル後の声をお聞かせください。

回答は「<https://forms.office.com/r/wSr9BDLNpz>」から



地域の
明日をよむ

Through FFG's Kyushu network,
we share insights and success
stories—brightly lighting the
"next step" for business leaders
and communities.



2025.10 VOL.175

Contents



かがみの海(福岡県福津市)
画像提供: ぴかりのみちDMO福津

Back
Number ▶



本誌のバックナンバーは、ふく
おかフィナンシャルグループの
ホームページにてご覧いただけ
ます。

Top Interview

- 2 株式会社 福住
代表取締役社長 河野 孝雄 氏
- 8 株式会社 風雅
代表取締役社長 塚田 利郎 氏
- 14 株式会社 嬉野観光ホテル大正屋
代表取締役社長 山口 保 氏
- 24 地域とつながるFFG連携プロジェクト
クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」と通じた長崎県の魅力発信
- 26 地銀9行連携レポート 福岡銀行
福岡県福津市の一次産業を守り続ける地域商社
～一般社団法人「福津いいざい」による官民連携の取り組み～
- 30 ビジネスマッチング
国境を越える誠意と信頼。
初の海外取引を通して広がる未来
西久大運輸倉庫 株式会社 代表取締役社長 伊東 健太郎 氏 ×
ブルーワン ジョイント ストック カンパニー社 CEO ヴォン チェン 氏
- 37 海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今
台北
- 40 海外展示会セレクション **NEW**
- 47 懐かしい情景を探して
黒潮洗う 断崖の「下り宮」
- 48 九州企業のサステナビリティ
南日本ハウス 株式会社 代表取締役社長 元山 豊二 氏
株式会社 亮 代表取締役 小野 英章 氏
博愛堂ファーマシー 株式会社 代表取締役社長 水田 晋一郎 氏
- 54 お城巡り
関東編②
- 55 長崎だより
深化する長崎歴史文化博物館を目指して
～博物館の20年～



 福岡銀行

不動産業の要は「人」。

考えて実践できる集団となり

福岡の発展にさらに貢献していく。

株式会社 福住

ふくじゅう

代表取締役社長
河野 孝雄 氏

かわの たかお

取引店／福岡銀行 天神町支店

■会社概要

設立:1975年／所在地:福岡市中央区／資本金:
1,000万円／従業員:83名(グループ全体:104名)
2025年4月現在／事業内容:【総合不動産業】
不動産売買仲介、企業借上げ社宅の賃貸仲介、
賃貸管理、テナント・オフィス賃貸仲介、コイン
パーキング事業、自社開発事業、相続対策、生命
保険事業、土地の有効活用、リノベーション事業、
不動産鑑定評価 他

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社EAST OFFICE受付前
(左から河野社長、五島頭取)

創業の地は「天神」 この街とともに成長

福岡市中央区天神に本社を置き、主に事業用・居住用不動産の売買仲介、企業借上げ住宅の賃貸仲介（以下「法人賃貸仲介」）、賃貸管理、テナント・オフィス仲介、コインパーキング事業、駐車場管理などを手がけています。創業は1975年、福岡市中央区の天神が始まりの場所です。

創業以来、私たちが福岡市中心部、特に「天神」にこだわる理由は、この会社がこの地とともに歩んできた歴史があるからです。当社は事業用不動産の売買仲介からスタートしています。事業用不動産というのは、マンション、ビル、物流倉庫、学校、工場、飲食や美容室など、事業を行うための不動産のことを言います。筑豊で生まれ育った創業者である父は高校卒業後、信用金庫に就職しますが、信用金庫が経営不振となり9年で退職。信用金庫時代に取引のあった異業種の会社の社長さんに不動産業を立ち上げるからと誘われて福岡に出てきました。その後事業用不動産仲介の仕事を手掛け、1975年、35歳の時に福住を設立しました。

創業の地は、現在「天神121ビル」が建つ場所、福岡大和ビルというビルに入居してのスタートでした。その後、同じく中央区の東警固ビル、西鉄赤坂ビル、親和ビルへと社員数が増える

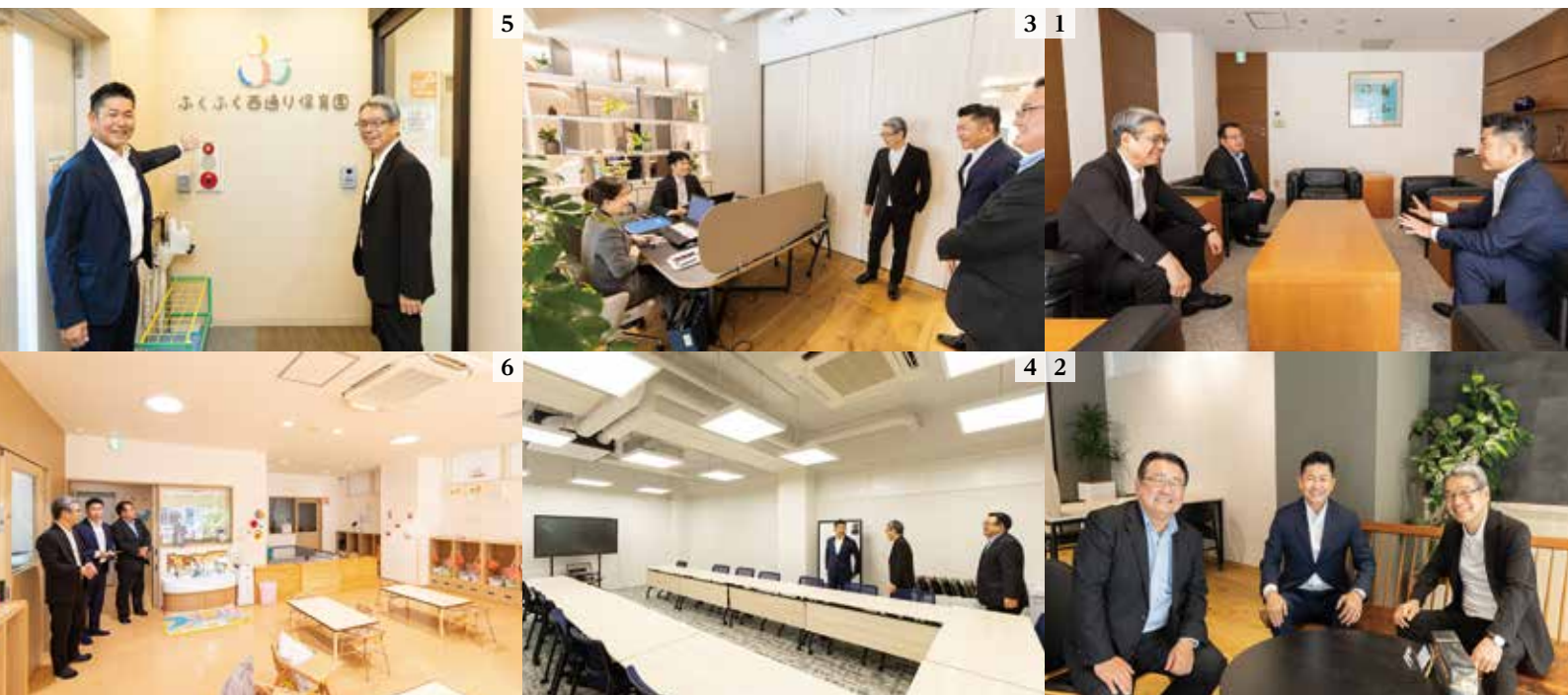
とともに移転をして、薬院に本社ビルを新築。その後、1992年に創業の地から近い場所に建つ天神ツインビルに本社を構えました。その天神ツインビルから、同じ天神地区に自社ビルを建設。それが現在の本社である「プリオ天神ビル」になります。

この天神ツインビル時代には、一つの転機を迎えます。1994年から、コインパーキング事業を開始しています。その頃は、バブル崩壊後で土地の売買が鈍化し、不動産業界全体が低迷していたと聞いています。そのような中で土地を有効活用するコインパーキング事業をスタート、現在では当社の主力事業の一つとなっています。

福岡銀行天神町支店も同じ時期に天神ツインビルに入居され、当社とは、それ以来のお付き合いになります。その後、本社ビル建設の際にもお世話になるなど、この出会いも一つの転機になっています。

収益の屋台骨となった コインパーキング事業

私は大学を卒業後、東京の不動産会社勤務を経て、1999年に福住に転じました。27歳の時で、ちょうどプリオ天神ビルに本社が移転した頃になります。入社後はコインパーキング事業を担当し、空き地や空き家など、毎日のように





河野社長

地域に密着した賃貸管理業務 自社開発ビルも次々と

創業から数年後に法人賃貸仲介をスタート

駐車場に向いていそうな物件を探し回っていました。
遊休地や空き家などを見つけては、法務局に行つて謄本を確認し提案営業。駐車場ができてからも、社員で力を合わせて草取りをしたり、駐車場のラインが消えそうなところは引き直したりするなど、常に快適な環境でお使いいただけるよう誠心誠意管理をしてきました。
この私たちの取り組みを見ていたある駐車場のオーナーさまから、「お宅の駐車場の管理を任せたい」といったお話をいただくことがありました。手間ひまをかけ、丁寧に仕事をすることは、次の可能性を生み出すことを実感しました。

しています。事業用売買仲介でのお取引先企業さまのご転勤者のお部屋探しをしていたのが法人賃貸仲介を始めたきっかけです。以来ずっと当社の賃貸事業は法人賃貸仲介とご紹介によるものが中心です。

賃貸管理業務に関しては西方面なら姪浜くらいまで、南方面なら大橋くらいまでと、この法人賃貸仲介事業を行う中で、ご転勤者からのニーズの高いエリアの物件を中心に管理を推進してきました。さらに、賃貸管理業はいろいろなことが発生しますので、自分たちの目がいかにか届くかがカギになります。責任ある仕事をすべく、短時間で行ける距離のエリアに定めて賃貸物件の管理をしております。

一方で、売買仲介に関しては福岡都市圏の案件がほとんどですが、ご相談があれば、九州そして全国の物件の仲介もしております。地元であることの強み、確かな人脈を得ることも、この業界では非常に重要だと思っております。

小規模ですが今まで自社開発事業も行ってきました。2001年の「プリオ大名」に始まり、「プリオ大名Ⅱ」「花形館」「プリオ大名Ⅲ」と大名エリアで4棟の商業ビルを新築させていただきました。2022年に専門学校をオフィスビルとしてリノベーションした「プリオ福岡ビル」と本社がある「プリオ天神ビル」を含めると天神大名エリアで開発したビルは6棟になります。



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.受付フロアで記念撮影／3.従業員と談笑／4.広々とした会議室／5.EAST OFFICE 2階に入居する企業主導型保育園「ふくふく西通り保育園」／6.ふくふく西通り保育園を見学／7.8.WEST OFFICEで従業員と交流／9.各フロア of 状況を確認できるため互いにサポートしやすい環境となっている／10.2024年1月新天町に開設したポップアップ型ショールーム「交流文化創造拠点HiRaKu」／11.企業メッセージ



最前列左2人目から大園副社長、河野貞雄会長、河野孝雄社長、五島頭取、山内支店長(福岡銀行)、高浜副社長

また、2016年には、今後のビル再生やリノベーション事業の将来性を見据え、リフォーム会社の「株式会社アシスト」の株式を取得、グループ入りしてもらい、リフォーム事業も順調に伸びてきています。

建築費の高騰が顕著になる昨今、リフォーム事業やビル再生事業を、当社の一つの柱として成長させていきたいと考えています。

お客さまの要望に応える コンシェルジュでありたい

不動産仲介業や資産管理の分野で重要なのは「人」の力です。私たちに求められるのは、お客さまの「こういうものがほしい」「この土地をどうしたら良いか」「将来の相続を見据えて提案してほしい」などというニーズを調査・分析し、最良の案をご提案すること。いわばコンシェルジュのような仕事をすることであり、「答えがない仕事」に道筋をつけていく力が必要なのだと思います。だからこそ、数多くの経験を通して「人」が成長することが何よりも重要だと考えています。

その力を養うため、当社では社員が主体となった研修や委員会などを設けています。例えば、入社4年目までの社員に対しては「フレッシュヤーズキャンプ」と題した研修を実施。

リーダーとなるのは4年目の社員で、若い世代の成長の場として活用しています。

また、ワーク・ライフ・バランス委員会や広報委員会など7つの委員会活動も活発です。この委員会には役職者もメンバーとして参加していますが、リーダーシップを取るのには若手社員です。これらの活動から生まれたアイデアも次々と実現しています。

一方、社員が健康的に安心して働ける環境づくりも進めています。例えば、会社負担による全社員の生命保険加入、女性社員への婦人科検診費用の補助などを導入。また、待機児童問題が社会で取り上げられたことをきっかけに、本社ビル2階に2018年4月に企業主導型保育園「ふくふく西通り保育園」を開園しました。この保育園には、約20名ほどの園児が通っていますが、当社だけでなく提携企業の方にもご利用いただいております。地域全体に貢献できているのではないかと感じています。

人材を育て、層を厚くする

2024年1月には、天神・新天町にポップアップ型ショールーム「交流文化創造拠点 HiRaKu」をオープンさせ、福岡のみならず九州全体の活性化につながるイベントを随時開催しています。この場所が拠点となって、地域、

人、そして文化を結んで、新たな方向に開く。随分昔から「かかとはローカルに、視野はグローバルに」と発信してきた当社としては、これからも地域共創の精神も忘れずに本業に邁進して参りたいと思います。

おかげさまで、2025年で創業50周年を迎えることができました。

今年は、地元の福岡ソフトバンクホークスが、主力選手のけがなどによってシーズン当初から苦戦を強いられながらも、若手が次々と台頭し、あらためて層の厚さを感じさせてくれました。人材の層が厚い、成長できる組織というのは本当に強い。ホークスのように強くなるには、ベテランが若手にしっかりと教え、若手は吸収しようと学び続ける意識の高さが必要であると実感しました。そして、制度のブラッシュアップやオフィス環境の整備も充実させてきました。今後も更に働きやすい環境を作っていくたいと思っています。これから先も一つ一つを積み重ね、社員がやりがいを感じてもらえる組織であれば、必ず成長できると信じています。「福住にお願ひすれば間違いない」と思っていただけのように、これからも取り組んでまいります。

5・6月合併号でHiRaKuをテーマに河野社長にお話を伺っていますぜひご覧ください



インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久

「お客さまの要望に応えるコンシェルジュでありたい。だから人を育てることが何よりも重要」とおっしゃる河野孝雄社長。なるほどということか、と思いました。以前、福住さんの若手育成プログラムで講話させていただいたときの受講者の皆さんの目の輝きを思い出したのです。

今回、各事業部門の執務フロアをご案内いただきましたが、皆さんイキイキと働いていらっしゃる姿がとても印象的でした。創業者である河野貞雄会長の想いを引き継ぎ、さらなる成長に向けて、当社の「人づくり」と「街づくり」はこれからも続きます。





 熊本銀行

「有明海苔を世界へ。」
ギネス認定を受け
伝統の味の価値を高めて
皆の幸せを包み込む。

株式会社 風雅^{ふうが}

代表取締役社長
塚田 利郎^{つかだ としろう}氏

取引店／熊本銀行 花畑支店
十八親和銀行 熊本支店

■会社概要

設立:1990年／所在地:熊本市東区／資本金:
4,600万円／従業員:48名／事業内容:海苔菓子
及び、加工海苔の製造販売業／関連会社:株式
会社通宝／事業拠点:本社、物流センター、福岡
営業所、関西営業所、関東営業所／直営店:江津
本店、城山店、益城店、武蔵ヶ丘店、長嶺店、
太宰府店、長丘店、小戸店、久留米店、宮崎店

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社前(左から塚田社長、坂本頭取)

有明海苔の伝統と真摯に向き合い 新たな価値の提供に注力

風雅は1990年、親会社である「通宝海苔株式会社（現・株式会社通宝）」から分社する形で設立しました。株式会社通宝は乾海苔を扱う食品卸業者として1961年に創業して以来、品質にこだわり、化学調味料無添加を徹底するなど実直に海苔と向き合い続けています。この海苔を、より付加価値の高い商品として販売したいと考え、当時は通宝の社員として勤務していた、風雅の初代代表・塚田強男^{すねお}が中心となって開発したのが、当社の看板商品である「風雅巻き」です。

風雅巻きに使われている高級海苔は、有明海で真冬に若摘みされる海苔で、色艶や風味、旨味、口溶けの良さを誇る最高峰のものに限定しています。販売戦略の一環として分社化を決定し、看板商品の風雅巻きを由来とする「風雅」を社名に採用しました。現在では、直営店10店舗に加え、三越・伊勢丹や高島屋、阪急百貨店、岩田屋等といった全国の大手百貨店と通信販売に販路を拡大しています。

品質の高さは一步も譲らず 楽しく自由な商品の開発に重点を

分社化するに至った最大の理由は、風雅巻きの品質を決定づける一番の原材料である海苔の質を確保するために、小売価格が高くても、商品の価値で評価していただく市場である百貨店市場を攻略するためのブランドを築き上げる必要があるということからでした。ただ、今日に至るまでにすべてが順調だった訳ではなく、百貨店市場に対する営業のノウハウがなかった会社設立当初には苦労もありましたが、大手菓子メーカーで経験を積まれた方々を迎え、営業力を強化することができました。

同時に、遊び心あふれる商品の開発にも取り組み、販路の拡大を狙いました。ご飯のお供としてポピュラーな佃煮や海苔のふりかけはもちろん、自由なシーンで自分らしい食べ方を楽しめるように、さまざまなフレーバーの海苔菓子や豆菓子をバラエティ豊かに提供しています。

今年は、ベルギー王室御用達のチョココレートブランド・GODIVA^{ゴディバ}とのコラボレーションによる「海苔ショコラクランチ」や、若い世代を中心に支持を集めるアニメ【推しの子】の「日本全国プロジェクト【47都道府県の子】」とコラボ



5



3 1



6



4 2





塚田社長

レーションし、限定パッケージの風雅巻きを販売するなど、新たなターゲット層に届く商品を生み出すことができました。「日本ギフト大賞2025」の受賞も果たし、幅広い世代が楽しめる商品開発へ意欲を新たにしています。

**環境の影響を受け3シーズンの生産減
追い風に助けられ
恩をつないで前を向く**

業績は上昇傾向を継続しており順調です。とはいえ、2016年には熊本地震によって営業の一時停止を余儀なくされ、2022年秋以降は、記録的と言われるほどの有明海の高潮の不作が続きました。そもそも有明海の高潮は海苔作りに非常に適しており、江戸時代から海苔の

養殖を受け継いできた伝統ある地域です。それでも、枚数・販売額における日本一の座を、19年ぶりに他地域の漁場に譲るほどの大打撃を受け、自然相手の商売の厳しさを痛感しました。

自然災害や環境の変動によるピンチは予測がつきません。よって備えも難しいものですが、熊本地震の際には、全国の皆さまが「買い支え」によって熊本県を応援してくださいました。それが大きな追い風となり、当社も支えられて今があります。

海況の変化による不作に対しては、前シーズンで多めに買い付けていた在庫に助けられました。意図したことではありませんでしたが、計算では追いつかない、その場の流れに乗る「勘どころ」のような感覚も、海の恵みをいただく仕事に大切な部分かもしれません。

ただ、広い目で見ると国産海苔の生産量が今シーズンは59億枚となり、1990年代のピーク時に比べてほぼ半減している状況です。環境の変化が大きな要因であるのは間違いありませんが、突き詰めて考えるに、日本の伝統的な海苔づくりの工程にも課題があるのではないかの思いもあります。

例えば、海苔の生産量で世界トップに躍り出た韓国では、生産工程を分業化しています。



11 9



7



8



10



1.対談風景／2.3.本店見学風景／4.ギネス世界記録®認定の盾とともに記念撮影／5.風雅巻きを製造している株式会社通宝にて中川専務(写真右)と談笑／6.一本一本人の手で丁寧に手巻きして出来上がる風雅巻き／7.8.9.10.風雅巻き製造工程を見学／11.企業メッセージ



前列左3人目から塚田社長、坂本頭取、末永支店長（熊本銀行）

海苔の種付け、収穫、加工それぞれを専門業社が担当することで、生産者にかかる作業や費用の負担を、日本に比べてかなり低く抑えられるのです。日本では種付けから加工、出荷まで一貫して生産者が担うため負担が大きく、新規参入のハードルの高さにつながっています。

新規参入については漁業権に絡むものであり、簡単に意見できることはありませんが、熊本海苔を愛する一企業として、皆さまに支えられた経験を忘れず、「できることを一つずつ」の精神で、課題に向き合い続けます。

地域の未来と有明海苔の発展を胸に 風雅らしく貢献する

有明海苔の生産地と聞いて即座に浮かぶのは、生産量トップを維持する佐賀県ではないでしょうか。海苔の生産者の高齢化が進む中、いかにして熊本県産海苔を守り育てるかが、非常に重要な問題となりつつあります。生産者や漁場を守るためにも「地域にとつてなくてはならない存在」であらねばとの思いで、地域貢献・社会貢献に努めています。

成形された海苔は、小さな衝撃で破損するほど繊細です。海苔を万全の状態で消費者へ

届け、パリッとした食感を楽しんでいただくために、風雅巻きは一本一本を手巻きで仕上げています。その製造工場を建設する際、都心部から離れた天草市と山鹿市を選びました。地方では仕事探しも容易ではなく、子育て世代や、地元で働きたい方々のニーズに応え、雇用機会の創出の一端を担えればとの思いからです。

その他、熊本県産の海苔をアピールするために、「塩屋一番」というブランド海苔を8年連続で落札しました。良いものは相応しい価格で購入入されるべきであり、生産者の意欲向上や、海苔養殖業に携わる若手の育成、地域の消費活動の活発化に寄与したい考えです。

また、能登半島地震の際は、以前から交流のある歌手・中澤卓也氏なかざわたくやから申し出を受けてチャリティーコンサートを主催し、義援金を送らせていただきました。熊本地震で助けていただいた恩をつなげ、風雅らしい貢献をこれからも続けてまいります。

「皆の幸せ」を使命に掲げ 有明海苔ブランドを 世界一へ押し上げる

社訓に掲げる「皆が幸せ 皆で幸せ」は、例えて

いうならば近江商人の「三方よし」の精神に通じるもので、作り手・売り手・買い手が共に笑顔になれる商品づくりを目指しています。当社の商品は嗜好品が中心ですから、社員にも遊び心を常に持つよう伝え、柔軟な発想を大切にし、さまざまな意見を出し合える社風を築いています。

昨年度は、ギネス世界記録®への申請を行いました。2024年開催の「第5回熊本県海苔入札会」において、「塩屋一番〇特」の落札価格が1箱432万円（1束100枚12万円）という史上最高価格を記録し、ギネスに申請したところ、今年6月に見事認定となりました。

中長期的なビジョンとして取り組んでいるのは、海外への販路拡大です。TSMC（台湾積体回路製造）の熊本進出で深まる台湾とのつながりを活かして、贈答品やデイリー商品等の輸出を始めています。ギネス認定を受けた世界一の海苔の桐箱入り10枚2万円という商品に大量注文が入るなど、滑り出しは好調です。

有明海苔の品質の高さが「世界一」であることを広く周知し、当社のみならず有明海苔、ひいては日本海苔の地位向上のステップの足掛かりとなるべく力を尽くしてまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏



有明海に伝わる伝統的な海苔養殖の文化を受け継ぎ、地元愛深く地域貢献を実践なさっておられる企業風土に感服しております。風雅巻きという唯一無二の商品を掲げて日本トップレベルの品質の普及に尽力されており、有明地域の環境の良さ、恵みの豊かさ、素晴らしさを知る人は今後も増えていくことでしょう。

熊本経済が変革期を迎えた今、時流の波に乗り、国内外へと活躍の場を広げ益々発展されることを期待しております。



トップに聞く!

十八親和銀行

創業から今年で100年。

おもてなしの心を守りつづ

地域の繋がりを重んじて未来を拓く。

株式会社
うれしのかんこう
嬉野観光ホテル大正屋

代表取締役社長

やまぐち たもつ

山口保氏

取引店／十八親和銀行 嬉野支店
福岡銀行 佐賀支店

■会社概要

創業:1925年／設立:1954年／所在地:佐賀県
嬉野市／資本金:1,000万円／従業員:175名
(2025年8月現在)／事業内容:旅館や温泉などの
宿泊業／グループ施設:大正屋、椎葉山荘、
湯どうふ本舗

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本館前(左から山口社長、山川頭取)

大火災から復興中の嬉野温泉で 酒店から転業し旅館を興す

嬉野温泉の歴史は古く、その昔、神功皇后（じんくうこうしゅう）（201～269年）が朝鮮半島に出兵した帰途、嬉野に湧いていた温泉の湯で兵士の傷が癒えたため、「あな、うれしの」と喜ばれたのが地名の由来になったと伝えられています。江戸時代には長崎街道の宿場町として栄え、「出島の三学者」と呼ばれたシーボルトも長崎から訪れたほどです。温泉は湯ざわりがなめらかで神経痛や皮膚病などに効くとされ、「日本三大美肌の湯」として知られるようになりました。

当旅館は、大正時代の大火災で嬉野温泉の中心部が焼失した際、復興期に初代の山口締一（しめいち）が酒販売店から旅館業に転業する形で創業しました。旅館に内湯がなく温泉水を引いていた時代に自家用泉源の掘削に成功し、湯治客や商人の常宿として人気を得ました。締一の長男で二代目となった山口政夫は、当時としては豪華なバストイレ付きの客室、最先端のダンスホールを新設して評判になったといえます。さらに、37歳で政夫が早逝した後、夫の遺志を引き継いだ三代目の山口英子（えいこ）

（現社長の22歳上の姉）は、一階はテラス、二階は庭園の眺望が楽しめるモダンな造りの大浴場の新設を始め、客室や広間の増築にも積極的に取り組み、旅館の拡大に力を注いでいきました。

旅館経営を学ぶ途上で 影響を受けた二つの出会い

私が当旅館に入社したのは大学卒業後の1964年です。入社から3年後には県外で知見を広げるべく、島根県の皆生温泉（かひけ）にあるホテルで2年間お世話になりました。当時のオーナーにはいろいろと教えていただきましたが、なかでもお客さまのおもてなしを最優先にしながらも旅館運営の合理性・効率性を忘れない経営眼に触れることができたことは貴重な経験でした。いくら理想を追い求めても、経営が疎かになれば、会社は存続し得ないのです。この経験は今思えば、当旅館開業100年を迎えることができた私の経営者としての礎になっているように感じます。

また、日本建築界の重鎮であり、奈良国立博物館や皇居新宮殿などを手がけられた建築家である故・吉村順三先生（よしむらじゆんさう）とのご縁も、



5



6



3 1



4 2





山口社長

私にとって、そして当旅館にとって、かけがえないものとなりました。

島根から大正屋へ戻った後、英子社長と視察で訪れた京都の老舗旅館「俵屋新館」(京都府・「文殊荘」(宮津市)で、伝統美を重んじながらも心地よさを漂わせる建物の佇まいに心を動かされました。いずれも吉村先生の設計によるものと知り、私たちが思い描くおもてなしを形にしていきたい一心で、直ちに先生のもとへ向かいました。

お目にかかって新館の設計をお願いしたものの、すぐにはよい返事をいただけませんでした。それでも、あきらめきれずに何度も通った末にお引き受けいただき、大正屋の一大プロジェクトが始まりました。1973年、地下一階・地上七階の本館完成を皮切りに別館や

離れ棟に至るまで、吉村先生の手によって私たちの理想とする形・姿が現実のものとなつてきました。

また、旅館におけるおもてなしの原点ともいえる「食」についても、厳選した食材はもとより、料理に趣を添える有田焼を始めとする食器、季節ごとにテーマを変えて供される食事とともにお出しするお品書き、自家製の二年熟成梅酒など、静寂でありながら心落ち着く旅館の建築美に劣ることがないよう日々おもてなしを続けています。

先代の猛反対に遭いながらも 推し進めた改革で経営効率向上へ

先代の英子社長は、時代の先を読む優れた才能の持ち主であり、仕事にすべてを捧げた人でした。2019年に満100歳となった先代は亡くなる前日まで経営会議に出席していました。それくらい自分自身を厳しく律しておりましたが、私を後継者として立派に育てたいという思いからか、私にも常に厳しく接していました。

その例が、1994年、椎葉川の清流に寄り添ったたたずむ宿「椎葉山荘」の新設に着工



11 9



7



8



10

- 1.対談風景／2.露天風呂「しいばの湯」(椎葉山荘)
- 3.和の趣溢れる離れ特室「水晶の間」(大正屋)
- 4.「水晶の間」の眼前には池や木立を有する静寂な庭園が広がる／5.大正屋謹製とろける湯どうふ
- 6.豊かな自然に育まれた佐賀・嬉野の旬を味わう会席料理／7.8.滝をしつらえた庭園大浴場「滝の湯」(大正屋)
- 9.馬山大学(韓国)からのインターン学生と談笑／10.清流椎葉川にかかる「はたる橋」にて。奥には椎葉山荘が佇む／11.企業メッセージ



前列左1人目から山口千鶴若女将、山口雅子専務、山口社長、山川頭取、堀尾支店長（十八親和銀行）、香月一昭常務、後列左1人目から山口浩取締役、山口副社長

した際のことです。これを機に経営の効率化を推し進めようと考えた私は、いわゆる部屋食を行わない方針を打ち出しました。しかし、日本旅館の伝統的なおもてなしを重視する先代は真っ向から猛反対でした。それでも私は熱意をもって説得を続け、最終的には「椎葉山荘」における新たな旅館経営の試みを認めてくれました。

そのほか、予約受付から始まる一連の事務作業をデータで一元管理するシステムを導入しました。当時の日本の旅館としてはいち早い取り組みだったと思います。これによって、全館の情報が共有化され、過去のデータから予約を予測するという適切な営業管理体制を通じて、経営効率の改善とともにお客さまへのサービス向上を図ることができました。

コロナ禍をきっかけに始めた

従業員満足度向上のための取り組み

2020年に入ってコロナ禍となり、開業以来初の長期休業を余儀なくされました。従業員の雇用を守るため、コロナ禍の期間は新規採用を控えていたのですが、結果的に運営面で人員不足の事態を招いてしまいました。

この経験を教訓として、2022年に従業員の満足度向上を掲げた「全館10連休制度」を導入しました。従業員の皆さんには、日ごろ

連休を取るのが難しい旅館業において家族とゆつくりできる時間や趣味を満喫する時間に充ててほしいと思っています。さらに、社員寮を設け、現場を支える人たちが良好なワークライフバランスを保てるような環境を整備しています。無料の社員食堂もリニューアルし、健康面でのサポートもおこなえるよう心がけています。

人材採用面では、国際的な集客力向上を目指して韓国やネパールから毎年採用をおこなっています。また、県内の西九州大学や佐賀女子大学と提携して、地元人材の雇用促進にも取り組んでいます。

環境整備、特産品、地産地消など 地域を存続させる仕組みをつくる

地域に対する取り組みという点では、旅館からの景観を考えて椎葉山荘の周囲に紅葉樹の植栽をおこなってきましたが、500本以上を植えた現在、地域の魅力向上ばかりでなく、近年多発している豪雨の影響による地滑り

対策としても役立っています。

また、当旅館が商品化した「嬉野温泉湯どろふ」は、地域全体の特産品として育てるために製法、商標を公開しており、現在は嬉野名物として知られるようになっていきます。旅館で使う食材は、嬉野の棚田米、有明海の魚介類など、地場業者の事業継続にひと役買う意味で、可能な限り地産地消にこだわっています。

昨年4月に大正屋の「四季の湯」をリニューアルしました。また、事業のスリム化と資本集中を図るため、本年3月に大正屋グループの宿「湯宿清流」を売却、9月には自社サーバーからクラウド型へ管理システムを移行予定で

先代英子社長は「当たり前のことを当たり前にする」をモットーとしていました。社会のニーズ・情勢は多様さを増し、当旅館を取り巻く環境も刻々と変化していくなか、当たり前とは何なのか簡単なようでとても難しい言葉です。今あえて私が一言でいうならば、当たり前とは「お客さまに真に寄り添うこと」だと思います。これからお客さまと誠実に向き合い、そして寄り添いながら、皆さまから愛される旅館を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦

この度は創業100周年をお迎えされましたこと、心よりお慶び申し上げます。100年の歴史を誇る老舗旅館でありながら、守るべきものと変わっていくべきものを見きわめたうえで、長きにわたり発展を遂げられた当社ならびに皆さまのご尽力に深く敬意を表します。

2022年9月の西九州新幹線開業によって新駅ができ、賑わいを取り戻したといわれる嬉野温泉。地域経済の浮揚とともに、大正屋グループのさらなる飛躍を心より期待しております。



福岡の“今”と“これから”について 福岡市・高島市長に聞きました!



一歩先を行く発想で、
地域に真のゆたかさを。

Guest

福岡市長

高島 宗一郎氏

Soichiro Takashima

特別対談

Interviewer

FFG チーフ・ストラテジスト

佐々木 融

Toru Sasaki

MC

FFG公式SNSキャラクター
みっちゃん



FFG公式YouTube
チャンネルにて公開中!

「天神ビッグバン」や「金融・資産運用特区」への挑戦」など大きな変革期を迎えている福岡。今回、福岡市の高島市長をゲストにお迎えし、福岡市の近況や将来像について佐々木チーフ・ストラテジストとの特別対談でお話を伺いました。

前 編

福岡市の“まちの未来”は どうつくる?



「天神ビッグバン」「一人一花運動」
「ベンチプロジェクト」など、
まちづくりのリアルを語るスペシャル回!

前編動画はこちら



後 編

福岡から日本を変える



「TEAM FUKUOKA」「金融・資産運用特区」
への挑戦、そして福岡から日本を変えるための
不断な改革など、福岡の未来を語る!

後編動画はこちら



産学金連携によるマッチングイベント 「日台半導体産業共創イベント」が開催されました!

2025年7月10日(木)、九州大学西新プラザで、日本と台湾の企業が持つ独自の強みと先進技術を活かして、相互協力を促進することを目的とした「日台半導体産業共創イベント」が開催されました。

主催：九州大学および台湾・国立陽明交通大学(以下、NYCU)

後援：九州経済連合会(KEF)、九州・沖縄地銀連携協定(以下、Q-BASS)

福岡銀行と十八親和銀行は、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州・沖縄・山口の第一地銀13行での連携協定「Q-BASS」を締結しています。この協定により、各銀行が連携しシナジー効果を発揮することで、半導体関連産業の集積促進や、半導体を起点とした他産業および社会インフラの強化を図り、九州・沖縄経済のさらなる成長を目指しています。

2023年9月、九州大学とNYCUは、人材交流や共同研究開発に係る覚書(MOU)を締結し、半導体分野においては「産官学金連携の枠組みを活用した地域企業の半導体サプライチェーン(供給網)参入」を目標の1つに掲げました。

九州では、熊本県菊陽町に新工場を建設した半導体受託生産の世界最大手・TSMCを中心とした半導体サプライチェーンが今後新

たに形成されていくものと見られておりますが、地域の半導体関連企業にとってサプライチェーン参入の壁の高さが課題となっています。

そのため、九州大学とNYCUは、Q-BASSのネットワークを介し、地域企業と台湾TSMCサプライヤー企業における人材面と技術面での交流を促進し、地域企業の技術習熟向上の伴走支援を行うことで、地域企業の半導体サプライチェーン参入を目指すべく本イベントを開催しました。

Q-BASSは本イベントの後援として、台湾

企業との協業に意欲的な取引先を紹介し、新たなビジネス機会やイノベーションの創出を支援しました。イベントでは、日台企業双方によるショー

トプレゼンテーションに続き、九州大学教授が同席での個別面談が実施され、マッチング成果としてはNDA締結準備中の企業もあり、今後の支援として技術マッチングや通訳支援の要望が多く寄せられました。

今後も福岡銀行および十八親和銀行は、FFGネットワークを活かしたQ-BASSの取り組みを通じて、九州における最先端デバイス半導体サプライチェーン構築による「新生シリコンアイランド九州」の実現を目指してまいります。



九州大学教授同席による個別面談の様子



イベント参加者の集合写真

Topics of the month

2025年9月2日に、長崎県壱岐市と FFGビジネスコンサルティングは、 エンゲージメントパートナー協定を締結しました



左から壱岐市 篠原市長、FFGビジネスコンサルティング 原田社長、林会長

長崎県壱岐市と株式会社FFGビジネスコンサルティングは、2025年9月2日に、パートナーシップを構築し、新たな社会価値を共創する事業（以下、「共創事業」という）を推進するため、エンゲージメントパートナー協定を締結しました。

共創事業は、それぞれの特性を生かし、連携による取り組みを推進し、相互が発展することにより、社会の活性化に寄与することを目的としています。

FFGビジネスコンサルティングは、これまで、壱岐市において、ワーケーション推進や地域内外との交流促進、地域産業の支援など、地域課題解決に向けて、様々な形でかかわってきました（※）。

本協定をきっかけとして、壱岐市や地域事業者、他のエンゲージメントパートナーなどと

さらに連携しながら、地域に真のゆたかさを実現していきたいと考えています。

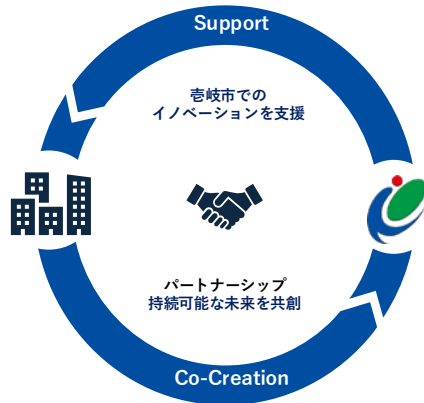
主な連携項目

1. 壱岐市及びFFGビジネスコンサルティング（以下、「両者」という。）による地域共創の取組に関する事
2. 両者の課題解決及び価値創造への取り組みに関する事
3. 両者のネットワークを活用した新たな取り組みに関する事
4. 両者の人材育成、労働力不足解消に関する事
5. その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

■ エンゲージメントパートナー制度とは

壱岐市に共感や愛着を感じ、お互いの特長を生かして、共に未来に向けた新しい社会価値の創造を目指す企業等との共創パートナーシップ制度です。

壱岐市は、パートナー企業に対し、社員の福利厚生の実施をはじめ、ワークスペースの提供や滞在のサポートなどを行います。
壱岐市のまちづくりを進めていく上で、パートナー企業との共創事業の創出について、ご相談させていただきたいと考えています。



エンゲージメントパートナーのポイント

■ パートナーと本市の関係性の在り方

- ・ パートナーと壱岐市の双方がより良くなるために貢献し合う状態
- ・ 一緒に良い状態を考え、一緒にその実現を目指していく関係
- ・ パートナーと本市の間に信頼関係が構築、段階的に深化
- ・ パートナーと本市の成長の方向性が連動
- ・ パートナーと本市で持続的な関係性を築くことが可能

■ 新しい社会価値を創造する取組をサポート

- ・ 壱岐テレワークセンター、シェアハウスの利用無料
- ・ 研究開発や実証のサポート
- ・ 地域事業者等とのマッチング支援

エンゲージメント1.0	エンゲージメント2.0	エンゲージメント3.0	エンゲージメント4.0
<意思表明> パートナー制度に加入する	<サポート活用> 本市を訪れて一緒に考える	<事業連携> 本市で新規事業を起こす	<社会共創> 本市とともに未来の社会を研究する

■ 壱岐市エリアにおけるFFGビジネスコンサルティングの関与事例(※)

壱岐焼酎ミニミュージアム制作・試行支援



壱岐市の観光スポットでもある「原の辻遺跡」にある「原の辻ガイダンス」(市施設)内に壱岐焼酎ミニミュージアムを制作・試行支援

ワーケーション実証支援



FFGビジネスコンサルティングは、壱岐市と連携し、2019年からワーケーション事業を支援

明星和楽in壱岐



福岡市を拠点に2011年から開催しているスタートアップやクリエイターなど様々な方との「異種交創」をテーマとしたビジネス交流イベント「明星和楽」を2022年12月に壱岐市で初開催

SDGs共創キャンプ(九州大学学生向け)



2023年の春休み期間を利用して、九州大学の学生8名が壱岐市に訪れ、地域の持続性に取り組む事業者等を訪問するフィールドワークとワークショップを行う「SDGs共創キャンプ」を実施

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、地域の事業者と連携した地域PRの取組みについてご紹介いたします。

長崎県



クルーズ客船「飛鳥Ⅲ」と通じた長崎県の魅力発信

2025年7月20日、郵船クルーズ株式会社の
運航するクルーズ客船「飛鳥Ⅲ」が就航しました。

飛鳥Ⅲではクルーズを通して日本全国の魅力との出
会いや再発見を創出することを目的とした特別企
画「ASUKAⅢ meets 47都道府県」を実施し
ています。この企画では、ミッドシップスイート客室に
全国47都道府県を割り当て、その土地で受け継がれ
てきた伝統工芸品や地元の特産品を部屋の装飾と
して設えるほか、その地域の銘品をウェルカムドリン
クやスイーツとして用意し、乗客は船内にいながら
郷土文化を五感で体感できる構成となっています。

全国各地の地域金融機関等が客室の企画協力
をする中で、十八親和銀行では長崎県の客室につい
て共創することとなりました。この取組みにおいて、
十八親和銀行が橋渡し役となり、「祈り、ひかり、
とびきり長崎」をテーマに、地域企業や工芸作家な
どと飛鳥Ⅲをつなぐ役割を果たしています。

長崎県客室内のインテリアとして三川内焼やス
テンドグラスを提案し、長崎県内で制作されてい
る方々を紹介。繊細で優美に描く絵付にこだわり制
作された佐世保市の伝統工芸品でもある「三川内
焼」の置物や、長崎の街の象徴とも言える石畳とそ
こから見渡す雄大な海をテーマに制作されたステン
ドグラスの壁掛け、ステンドグラスを使ったランプ・
キャンドルホルダーを提供いただき、長崎県客室

内のインテリアやアートパネルとして採用されて
います。

また、長崎県客室内で提供されるウェルカムドリ
ンクには、西海市で栽培されている糖度9度以上の
大島トマトを使用した100%トマトジュース、ウェ
ルカムスイーツには半世紀以上にわたって親しまれる
ホワイトチョコレートと生姜を組み合わせた長崎銘
菓「クルス」が採用されており、商品を提供いただく
ことで郷土文化の体感発信が同時に実現しました。



「飛鳥Ⅲ」ミッドシップスイート客室



飛鳥Ⅲ



スタンドグラス（壁掛け）



染付花唐草文蓋物（置物）



キャンドルホルダー（置物）

提供：郵船クルーズ



大島トマトジュース（ウェルカムドリンク）



長崎銘菓クルス（ウェルカムスイーツ）

今回の客室は単なる滞在スペースにとどまらず、地域と乗客をつなぐ”交流の間“とも言える存在であり、十八親和銀行は地方銀行として、長崎県の文化資源等の提案や交渉など多面的に関わり、地元の魅力が船上に持ち込むことで、船内に「長崎県」を創り出す役割を果たしました。

の食を含む様々な文化や伝統といった誇りをクルーズ客船を通して乗船される人々に向けて発信できる新しい取組みとなり、船旅を終えた乗客が実際に長崎県を訪れたくなるような、「旅の種まき」の場として機能する一助になればと考えています。

今後もFFGでは、お取引先や自治体とも連携し、長崎県をはじめとした地域の魅力のPRや活性化に繋がる取組みを行ってまいります。



かみた
十八親和銀行 地域振興部 境・紙田
【お問い合わせ】 095-828-8150

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】 TEL (092) 723-2254



かがみの海(画像提供:ひかりのみちDMO福津)

福岡県福津市の一次産業を 守り続ける地域商社

「一般社団法人「福津いいざい」による官民連携の取り組み」

心ほどける海と歴史のまち、

福岡県福津市

福岡県北部に位置する福津市は、美しい自然環境と豊かな歴史文化が魅力の地域です。西側には福岡海岸、宮地浜、津屋崎海岸と約3kmに渡る遠浅の海岸が広がり、マリンスポーツが盛んで、お洒落なカフェも点在しています。干潮時には砂浜が鏡のように空を映し出し、幻想的な光景を生み出す「かがみの海」が広がり、フォトスポットとして高い人気を誇ります。

また、福津市は「宮地嶽神社」^{みやじだけじんじや}が有名で、多くの参拝者が訪れる信仰の中心地です。この神社では、特に「光の道」と呼ばれる現象が話題となり、毎年多くの観光客を惹きつけています。

今回は、福岡県福津市で一次産業の課題解決に取り組む一般社団法人「福津いいざい」(地域商社)の活動を紹介します。

福岡県でも人気のスポットとなっている福津市ですが、見過ごせない課題も抱えています。福津市では古くから農業、水産業が盛んであり、脈々と受け継がれてきました。しかし、一次産業が盛んな地域では、高齢化により生産者は減少の一途をたどっています。背景には若者の人口流出による後継者不足という課題がありました。

福津市にとって、一次産業は地域経済の大切な柱です。この状況を解決するために福津市役所、市内3つの直売所、関係団体で協議会を立ち上げ、一般社団法人「福津いいざい」(以下、福津いいざい)という地域商社を設立しました。設立にあたり、FFGビジネスコンサルティングは、事業計画の策定、協議会運営のサポート、設立後の伴走支援などを行い、本事業を支援してきました。

一次産業を守り続ける 地域商社福津いいざい

福津いいざい
ホームページは
こちら



今回、福津いいざいの代表理事を務める森田誠氏にお話を伺いました。
北九州市八幡西区出身の森田氏は、卒業後、設計補助の仕事をしていましたが手に職をつける



福津いいざい

ために魚屋に転職。そこで目利き・加工・販売のノウハウを身につけ、親戚の住む海と自然が豊かな福津市の魅力に惹かれ漁師町の津屋崎町に転居することを決めました。津屋崎祇園山笠という地域行事を通じて町が一つになり、人情あふれる人が多いところがこの町の良さと語ります。

福津いいざいを構成する3つの直売所は、水産に強みを持つ「お魚センターうみがめ」、海側で生産される農産物と生花を中心に販売する「あんずの里市」、山側で生産される農産物を販売する「ふれあい広場ふくま」があり、それぞれに特色を有した直売所です。

取り組みの一つである「福津市産品の市内供給拡大事業」では、これらの直売所で農産品と水産品を相互に供給し合うことで品揃えを充実させ、利用客の満足度向上につなげています。



福津いいざい 森田代表理事

福津いいざいの仕入れの特徴として、農産品と水産品のどちらも生産者から直接仕入れるという点があります。直接取引を

行い、価格も市場価格にすることで生産者への利益還元を実現しています。生産者は輸送費や手数料がかからないという点でも大きなメリットとなっています。

その他の取り組みとして、市内の飲食店や学校給食にも福津市産品を供給する地産地消（地産地商）にも貢献しながら、小中学校の学校給食の時間に福津市で獲れる鯛の説明を行うなどESD（持続可能な開発のための教育）活動にも取り組んでいます。

福津市の食材を活用した 持続可能なPR商品の開発

一方で、福津いいざいの地産地消（地産地商）の取り組みだけでは、一次生産者を支えていく上で、収益向上という経営面での課題があり、福津市をPRするお土産品や自社商品の開発、ふるさと納税への出品も進めてきました。

福岡県の鯛の漁獲量は2023年に約2,126トンで全国3位となっており、福津いいざいでは天然真鯛の加工品として「鯛茶漬け」や「鯛めし」の製造・販売を行っています。更に



海を食べるクッキー



空飛ぶあごだし



万能だし鯛



自社商品の筑前玄海イカの漬け丼食べ比べセット



チーズサンド福津ハニー

SDGsの取り組みとして、従来廃棄されていた部位を活用した「万能だし鯛」を開発しました。また、福津市役所との連携により、日本航空株式会社（以下、JAL）や全日本空輸株式会社（以下、ANA）とのPR商品開発にも取り組んでいます。

JALとの連携では、「JALふるさとプロジェクト」の一環として、福津市で漁獲されたトビウオを活用した出汁パック「空飛ぶあごだし」の発売を2025年8月1日より開始しました。この商品も本来廃棄されていた部位を有効活用し、旨み豊かな「あごだし」に仕上げた商品です。

また、福津産のはちみつ・米粉を使用した「チーズサンド福津ハニー」も共同開発しています。

ANAとの共同開発では、「海を食べるクッキー」の販売を行っています。海産物の風味を活かしたクッキーで、鯛・イカ・あごの3種類の味が楽しめます。福津市で獲れた天然の鯛や、米粉など地元素材にこだわって作られています。

一次生産者と成長を続けていくために

今後も一次生産者が安心して働ける環境づくりのため、福津いいざいは成長を続けていく必要があると森田氏は語ります。

現在、福津いいざいには34名の従業員が在籍しており、福津市に新たな雇用場を生み出しています。今後も官民が連携しながら、地域の発展と持続可能な成長に貢献し、地域の未来を支え続けていきます。

（文責：FFGビジネスコンサルティング 古賀滋晴）

※本記事は2025年8月31日時点の情報です

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する（今後検討される）お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ① 複数の地方銀行による資金供給（シンジケートローン・協調融資等）
- ② 他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。（個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。）
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。（ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。）

国境を越える誠意と信頼。

初の海外取引を通して拡がる未来

西久大運輸倉庫株式会社の伊東社長とベトナム・ブルーワン社のヴォン社長に、ビジネスマッチング成功までの経緯と現在の想いを伺った

九州から全国へ、 歴史と進化の物流

西久大運輸倉庫株式会社：伊東社長

西久大運輸倉庫株式会社は、1917年に通運業から事業をスタートし、以来100年以上にわたって物流を支え続けてきました。社名の「久」の字は、九州の「九」と間違えられることも多いのですが、1928年に開業した久留米と大分を結ぶ久大線（現：久大本線）の西側を管轄エリアにしていたことが由来となっています。

現在は九州全域を中心に全国に物流網を持つっており、九州各県へのトラック運送に加え、全国44拠点・18箇所の倉庫を活用した貨物輸送など、九州と全国をつなぐ長距離輸送も行っています。さらに、通関・貨物の輸出・倉庫物流など物流に関する幅広い事業を展開しており、多くのバリエーションを持った提案が可能となっています。

ブルーワンジョイントストックカンパニー社
CEO ヴォン チエン 氏

西久大運輸倉庫株式会社
代表取締役社長 伊東 健太郎 氏
取引店：福岡銀行本店営業部



取材はベトナムとオンラインでつなぎ、終始和やかな雰囲気で行った



高品質と安定を求め サプライチェーン強化へ

西久大運輸倉庫株式会社・伊東社長

自社の要とも言えるトラックのエンジンには「尿素SCRシステム」を搭載しており、排出ガスを浄化するための高品質尿素水 AdBlue® が欠かせません。数年前、全国的に AdBlue® の供給が不安定になり、自分たちでなんとかできないかと考え始めました。そこで、輸出入の通関代行業務を展開している自社の強みを活かし、良質な AdBlue® を輸入できる取引先を調査し始めました。

取引先の条件としていちばん重要視したポイントは、やはり品質ですね。ブルーワングジョイントストックカンパニー社（以下ブルーワン社）さまはVDA認証を取得されていたので、品質が担保できているという安心感がありました。メールでのやりとりでもスムーズな連絡を重ねることができ、信頼関係が構築されていきました。



今日もAdBlue®と進むトラックを背に。左から伊東社長、吉田部長



ビジネスマッチングによる成果と期待を語る伊東社長

ある日、福岡銀行の吉田部長にご訪問いただいた際、雑談のなかで相談を持ちかけたことをきっかけとして、現地調査を依頼することとなりました。



両社の準備が円滑な取引につながったと語る吉田部長

福岡銀行・吉田部長

事情を伺い、福岡銀行としてなにかお手伝いできればと、駐在員事務所のご紹介と現地調査のご提案をしました。西九大運輸倉庫株式会社さまは行動力が素晴らしく、すでにブルーワン社さまにアポイントを取っていらっしゃいました。お取引先や目的が明確に定まっていたので、我々としてもスピード感を持ってサポートの準備に取り掛かることができました。最初に着手したのは、ベトナムの経済事情

やブルーワン社さまの状況の調査です。ホーチミン駐在事務所の吉永が現地を早速訪問し、レポートを作成いたしました。実は海外の駐在事務所はアジアに7拠点あるのですが、ベトナムはまさに今経済成長している国ということもあり、調査のリクエストも非常に多くなっています。

これまでの経験もあったからこそ、本マツチングにおける疑問点や懸念点の間隔もスピーディーに埋めていくことができたと考えています。

3600kmの距離を超え、 信頼を繋ぐサポートを

ホーチミン駐在員事務所・吉永所長

まず初めに西九大運輸倉庫株式会社さまがどのような懸念を抱いてらっしゃるか、どういうところについて知りたいのか把握するために、ウェブ面談を実施し、ブルーワン社さまにアポイントを取って訪問しました。西九大運輸倉庫株式会社さまにも質問項目を事前に準備いただき、丁寧にヒアリングを実施できましたので、細かい点まで調査することができました。また、事前のオーダーに応えるのももちろん、社長の人となりや事業への思い、工場が整理整頓されているかどうか

かなど、銀行としてプラスαのサポートをするために国内外問わず重要となるポイントに関しても、慎重に調査を進めました。

日本のビジネスシーンでは「一旦持ち帰って検討する」という事例がよくあると思いますが、ベトナムではその場で決断することが多いと感じており、信頼関係が不十分な場合は取引が不成立になるケースもあります。この点では、事前の準備や実績、関係作りは国内でのお取引以上に大事にしないといけない部分ではないかと感じています。



駐在員事務所での一枚。左からヴォン社長、吉永所長



現地駐在員事務所が作成した調査資料項目

事務所紹介・現地の基礎情報



面談ヒアリング内容



想定される取引の流れ



工場・オフィス・ラボラトリーの様子



その他関連情報



現地調査を経て作成したレポートと、契約成立時の現地訪問の様子



品質にこだわって製造されるAdBlue®

ブルーワン社は2019年に会社を設立し、「尿素SCRシステム」で使用するディーゼルエンジン用尿素水AdBlue®を中心に、船舶用尿素水のAUS40や、エンジン冷却水、モーターケア製品、洗剤などの製品を展開しています。20カ国ほどの海外取引経験があり、日本企業との取引は2件目です。

西久大運輸倉庫株式会社さまとのやりとりや、現地調査の依頼を受け、真剣な姿勢に感心しましたし、期待に応えられるように、こちらにも念入りに準備に取り組まなければならないと思いました。メールでのやりとりだけでは説明が不十分な点もあると思います、実際にサンプルも送りながら製品の説明を行いました。

ブルーワン社 ヴォン社長

日本企業との取引で感じた
真摯な想いと成長のチャンス

日本企業は、より真剣にシビアな目線で取引に取り組んでいる印象があります。他の国はメールでやりとりをし、価格が合えば受注となることも多いのですが、新しい取引先を決定するうえで時間をかけて会社や商品の品質、生産方法について細かくチェックし、サンプルを確認したうえで会社の調査を実施したことはこれまでの海外取引との大きな違いだったと言えます。

細かい確認を重ねる分時間もかかりますが、これを困難だと思わずに自分の会社や商品がより良くなるための光栄なチャンスだと捉え、一層身が引き締まる思いでした。

さらなる連携と 事業拡大に向けて

西久大運輸倉庫株式会社：伊東社長

ベトナムとの時差は2時間あるのですが、その不便さを感じさせない円滑なやりとりを重ねられた点が何より良かったです。実際に現地で工場を見学し、従業員の方々の働きぶりに触れることで、事前調査通りの品質や環境を確認することができ、さらに信頼度が増しました。今回の件をきっかけに、事業を支えるインフラや資材に関しては、今後も自社で用意できたらいなと思います。

海外取引となると、現地を直接訪問するまでのハードルを感じますが、現地に駐在している担当者の方に事前調査をしてもらえるのはありがたいことでしたね。今後も何年かおきにベトナムに行く機会があると思うので、また駐在員の方に同行していただけたらありがたいです。

ブルーワン社：ヴォン社長

今回の取引を通じて、長くお付き合いできることを期待しています。また、日本企業との取引の進め方を知り、どのように期待に応えていくべきなのかに関しても経験することができました。これをきっかけに日本市場向けのビジネスを広げることができれば嬉しく思います。

西久大運輸倉庫株式会社：伊東社長

今後も主軸となるのは物流会社としての事業です。今は国内物流をメインに展開していますが、本件をきっかけに、国外にも物流網を伸ばしていきたいと考えるようになりました。AdBlue®については、まずは自社での活用を考えていますが、外販も新たな展開になりうると思います。ヴォン社長から「日本市場への展開を考えている」という言葉もありましたが、「一緒に新たな市場を開拓できれば嬉しいですね。」

ホーチミン駐在事務所：吉永所長

両社が今回開始したお取引を続けていく中で、現地で確認が必要な事象や銀行として間に入った方が良い場面も出てくると思います。そうした時には、現地にいる強みを活かして、些細な事であってもサポートを行いたいですし、その積み重ねにより長いお取引につながれば本望です。

ネット社会の今、日本にいながら海外の情報も多く入手できる環境にあると思います。そのような環境下で、「実際に目で見て感じるもの」、「ここにいないればわからないもの」をいかに伝えていけるかが我々の存在意義につながると思っていますので、その部分を強化し、正確で鮮度の高い情報を伝えられるように努力していきたいと思っています。

福岡銀行：吉田部長

両社長、両社が前向きに真摯に向き合いあったからこそ、マッチングの成功に繋がったのだと感じています。これから両社がさらに進展・発展していくなかで、福岡銀行としてどのようなサポートができるのか、両社に常に寄り添った視点を持ち続けたいです。また、「海外取引について前向きに考えているもの、最初の一步の踏み出し方がわからない」という企業も多くあると思います。そのような



伊東社長は今回の取引成立を受け、今後も長く取引が続くことへの期待と、新たな事業展開の可能性についていきいきと語った



西久大運輸倉庫株式会社

1917年設立。九州を中心に、全国にも拠点と倉庫を保持。トラック運送・貨物輸送、物流倉庫業、通関、EC・発送代行などの幅広い物流サービスを展開。

<https://www.nishikyudai.co.jp/>



ブルーワン ジョイント ストック カンパニー社

2019年設立。高品質尿素水AdBlue®をはじめ、排気ガス削減に向けた製品と、エンジン洗浄液や車体洗剤などのケア製品を製造・販売。

<https://blueone.vn/en/>



場合は、具体的な形になっていなくとも構いませんので、微かな熱意やビジョンだけでも最寄りの福岡銀行にお伝えいただきたいです。いつでも万全の体制を整え、どんなことでもサポートをしていきたいという想いを持って、これからも地域に寄り添ってまいります。

Topics of the month

クロステック マッチ アップ

「X-Tech Match up 交流会 製造DX in 北九州」を開催しました！

2025年8月7日(木)FFGお取引先とスタートアップのネットワーキングイベント「X-Tech Match up 交流会 製造DX in 北九州」をFFG北九州本社ビルにて開催しました。

「X-Tech Match up 交流会」はFFG傘下のFFGベンチャービジネスパートナーズ(代表取締役社長 吉田泰彦)が2022年より開催しているFFGお取引先とスタートアップのネットワーキングイベントです。課題解決や新たなビジネスの可能性を探る場としてご好評頂いています。

本交流会は今回で9回目。今回は製造業が盛んな地域、北九州で「製造DX」をテーマに開催しFFGお取引先は約40社、スタートアップ10社が参加されました。

FFGお取引先からは社長、部長等の意思決定者の方にご参加頂き、スタートアップとの単なる情報交換にとどまらず、導入や提携を視野に入れた具体的な議論が行われました。実際にいくつかの商談が生まれており、現場の課題解決へとつながり始めています。

本交流会は、生産効率化や人手不足、新規事業開発といったFFGお取引先が抱える課題に、スタートアップの先進技術を掛け合わせることで、未来志向の成長を後押しするものです。ご参加されたFFGお取引先からは「普段聞くことができないスタートアップのサービスを聞くことが出来て良かった。課題解決のヒントになりました」とのお声も頂いています。

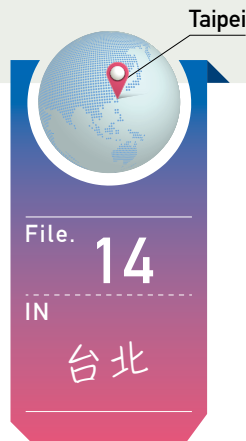
今後も「X-Tech Match up 交流会」は継続的な開催を予定しています。FFGならではのネットワークを生かし、皆さまの挑戦を支える「橋渡し役」として新しい価値を提供してまいります。



会場の様子



各企業が自社のサービスを説明



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。
今回、台北駐在員事務所の池田所長代理に現地の情報やビジネスについて伺いました。

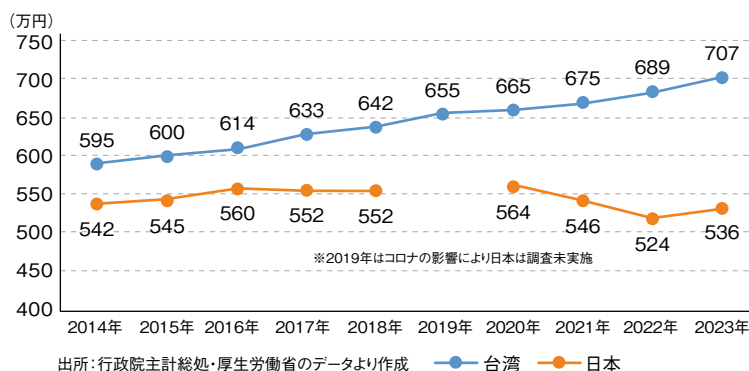
Question 1

現地の状況について 教えてください

A 台湾では近年、経済成長を背景に所得水準が上昇してきました。特に半導体を中心としたハイテク産業等における労働需要の高まりにより企業間で人材獲得競争が発生しており、優秀な人材の確保および定着を図るため、各企業が賃金を引き上げる動きが広がっていること等が所得向上の要因のひとつと言われています。台湾の1人あたりの平均給与は年間約400万円(台湾行政院主計総処データ)で、日本の約460万円(国税局データ)と比較して低い水準にありますが、平均世帯所得に着目しますと、台湾では夫婦ともに正社員として就業しているケースが多いこともあり、日本を上回る水準で世帯所得は着実に増加し、家計の購買力も上昇しています【資料1】。

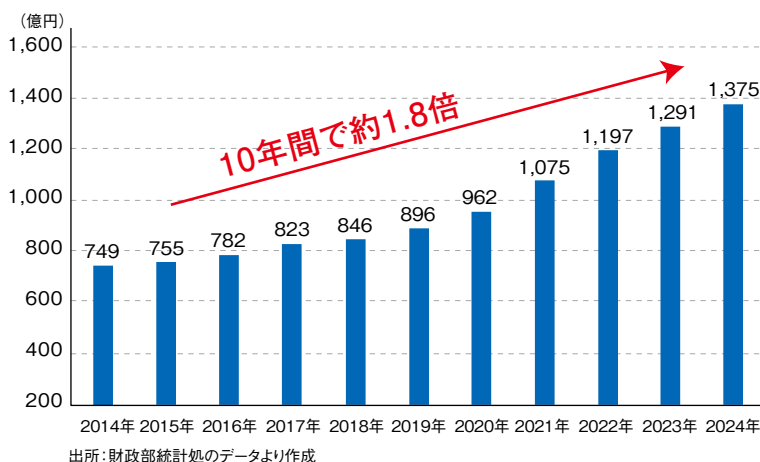
加えて、台湾でも少子化の進行や価値観の変化、例えば若年層に

【資料1】台湾と日本の平均世帯所得の推移 1台湾ドル=4.9円換算



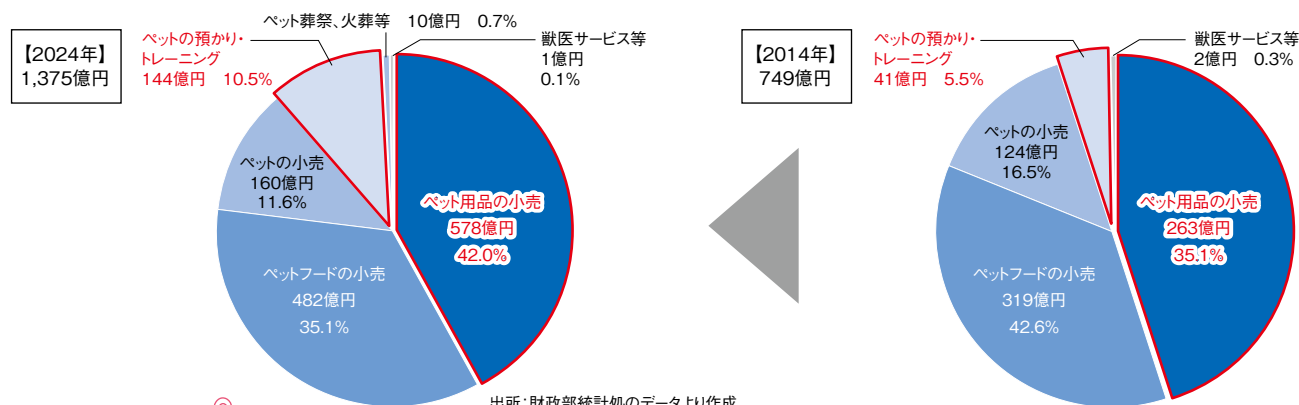
おいては結婚・出産は必須ではないと考える人々の増加等がみられ、消費も多様化してきたと言われています。これらの変化を象徴するひとつの例として、近年ではペットを飼育する人の増加が目になります。台湾農業部の調査によりますと、2023年の犬猫の飼育頭数は約279万頭となっております。

【資料2】台湾のペット関連小売売上高推移 1台湾ドル=4.9円換算



り、2021年の210万頭から2年間で3割も増加しました。犬猫の内訳をみますと、犬の飼育頭数は10年間で約174万頭から約148万頭と減少しているのに対し、猫の飼育頭数は約57万頭から約130万頭と倍増しています。猫の飼育頭数が増加した背景として、都市化の進行でマンション

【資料3】台湾のペット関連小売売上高内訳



Question 2

A 台北市内でペットショップを運営する企業に業界動向等の現

地企業の声を聞かせて下さい

等の集合住宅に居住する世帯が増加したことや、高齢化の進展により散歩の必要がない猫が選ばれていることなどが一般的に言われています。

台湾のペット関連市場も着実に成長を続けており、小売売上高はこの10年間で約1・8倍に拡大しました【資料2】。2024年のペット関連小売売上高において、割合が最も高い「ペット用品（約42%）」は10年間で倍増する勢いで市場拡大を牽引しており、また、「ペットの一時預かりやトレーニング」が10年間で約3・5倍に伸びていることも、ペットを家族の一員として環境を整え、大切に飼育するためにお金が使われるようになったことを示していると考えられます【資料3】。

地事情について、話を伺いました。

〜現地企業の声〜

最近、台湾ではペット関連展示会に多くの来場者が訪れるようになり、関心の高さが伺えます【資料4】。特にペットの健康や安全性への意識が強まり、「天然」「オーガニック」といったキーワードの商品への需要が高まっており、各ブランドもこれらを前面に出したプロモーションを展開しています。ペットフードでは高価格でも信頼感の高い海外ブランド製品が人気です。中でも日本製の猫用ウェットフードは、やや濃い味付けが偏食気味の猫にも受け入れられやすく、とりわけ健康面からミネラルバランスの良さを謳った商品が人気となっています。また、自動給餌器やペット用監視カメラの需要も高まっており、共働き世帯が多い台湾で、自宅を留守にしているも安心してペットを飼える環境作りが重視されています。消費者は価格よりも「健康」「安全性」「ペットの嗜好性」を重視

Question 3

A 台北駐在員事務所では、台湾駐在員事務所の活動事例を紹介して下さい

【資料4】ペット展示会の盛況な様子



する傾向で、これは「ペットを家族の一員」と捉える価値観の広がりによるものです。最近では、日本と台湾の企業が共同開発した犬猫用サプリメントが発売され、売上も好調です。台湾のペット市場の更なる拡大を見越し、異業種からの市場参入も増加しています。

Question 4

との貿易をはじめ、台湾進出、台湾企業の対日進出等に関するご相談を数多く承っております。貿易関連のご相談に對しましては、台湾現地の商社やバイヤー等のリストアップから、商談の設定、アフターフォローに至るまで、一貫したサポートを行っています。当事務所のネットワークには日系企業に加え、多くの台湾企業も存在しており、お客さまにとって最適なビジネスマッチングの機会をご提案できるよう努めております。今後さらに現地のニーズを的確に把握し、日本のお客さまへ確度の高いご提案ができることを目指して活動して参ります。

**海外ビジネスを目指す
お客さまへメッセージを
お願ひします**

A 台湾では所得の向上や人々の消費行動の変化、多様化に伴い、前述のペット市場のようなこれまでとは違う分野での消費拡

大が見られます。台湾の消費市場には既に世界中から様々な商品・サービスが流入しており、競争が激しいのは事実ですが、変化していく台湾人のニーズや嗜好を捉えることで参入のチャンスを掴むことができる市場であるとも考えます。当事務所がサポートさせていただいたお客さまにおいては、強みである商品・サービスの品質の高さや技術力はそのままだに、台湾市場に精通した現地企業と連携して台湾に合ったものを生み出すことで、台湾での事業展開が軌道に乗るケースや、当初の想定とは違ったアイデアが生まれ、新しい事業が始まるケースもございました。

当事務所では、各分野の第一線で活動する現地企業等から情報を収集し蓄積しております。台湾との貿易や事業展開、進出等にご関心がございましたら、ぜひお取引のある営業店までご相談ください。



**現地のおすすめや
過ごし方をご紹介ください**

私が住む台北市から車で約1時間の距離にある福隆海水浴場では、毎年5月から9月に「砂の彫刻フェスティバル」と呼ばれるイベントが開催されています。世界各国から彫刻アーティストが参加し、数多くの砂像が展示されています。18回目

の開催となる今年はメインテーマにディズニーを据え、ミッキーマウスやプリンセスなど人気の高いキャラクターの彫刻作品等、計45体の砂像が展示されています。砂像はキャラクターの表情等細部に至るまで繊細に彫刻されており、中には高さ8m

を超える作品もあり圧巻です。毎年テーマが異なるので、何度来ても楽しめるというのもこの彫刻フェスティバルの魅力だと思います。もし夏場に台湾に来られる機会がありましたら、一度訪れてみてはいかがでしょうか【資料5】。

【資料5】



海外展示会 セレクション

FHA 2026 -
Food &
Hospitality
Asia



シンガポール
Singapore

展示会概要

「FHA 2026- Food & Hospitality Asia」は食品業界およびホテルやレストランといったホスピタリティ業界向けの展示会です。2025年は4月に「FHA 2025 Food & Beverage」という名称で食品と飲料に特化した内容で実施されましたが、次回2026年は近年別日程で開催されていた食品およびホスピタリティ業界向けの見本市を統合し、大規模に開催されることになりました。そのため今回は今年以上の来場者や出展者が見込まれ、東南アジアを中心とした世界のバイヤーとの直接交渉や新たなビジネス機会の創出が期待されます。主催者によると2つの展示会を統合し大規模化することで115の国や地域から約8万人の来場者と2,750社の出展を見込んでいるとのこと。



展示会主要情報

名称：FHA 2026 -Food & Hospitality Asia
開催期間：2026年4月21日～2026年4月24日
会場：SingaporeExpo
業種：食品・農林水産物、飲料、店舗用設備・機器、ディスプレイ、ホテル、レストラン、ケータリングなど
入場方法：公式ウェブサイトからの事前登録
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください
入場資格：ビジネス関係者
公式WEB：https://foodnhotelasia.com/
サイト

2025年4月の開催時はJETROが設置したジャパンパビリオンに日本から31社・団体が出展し、ウニやウナギなどの水産品、イチゴ、スイーツ、果物ジュース、茶、日本酒、リキュールなどがブースに並べられ、日本の産品に興味を持つ来場者で賑わっていました。

また来年度統合開催されるホスピタリティ部門には、業務用調理器具や食器などのホテルやレストラン、カフェ運営に関する製品やサービスの出展があるため、幅広い業界の方におすすめの展示会です。



トピックス

中国国際
輸入博覧会



上海
Shanghai

展示会概要

「中国国際輸入博覧会（通称：上海輸入博）」は、「中国の輸入」をテーマとする国家級の大規模博覧会です。今年は11月5日から11月10日まで6日間の日程で行われます。毎年上海で開催されており、今回で8回目を迎えます。昨年は129の国と地域から3,496社が出展し、期間中は85万人超の来場者が訪れます。その最大の特徴は、中国の巨大な消費市場への窓口であることに加え、世界各国の企業や製品が集う国際的なビジネス交流の場となっていることです。実際に昨年の商談取引総額は800億米ドル超にのぼり、世界各地で行われる展示会の中でも最大の規模となっています。



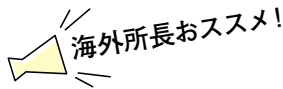
展示会主要情報

名称：中国国際輸入博覧会
開催期間：2025年11月5日～2025年11月10日
会場：National Exhibition and Convention Center
業種：食品・農林水産物、自動車、インテリジェント産業、情報技術、消費財、医療機器、ヘルスケア製品、貿易サービスなど
入場方法：公式ウェブサイトからの事前登録（10/20まで登録可能）
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください
入場料：11/6～11/10（5日間）200元（約4,000円）
11/8～11/10（3日間）100元（約2,000円）
11/9（1日間）50元（約1,000円）・11/10（1日間）50元（約1,000円）
主催者情報：（名称）China International Import Expo Bureau
（住所）333 Songze Avenue, Shanghai, China
（Tel）+86-21-968888
公式WEB：https://www.ciie.org/zh/en/
サイト

今年から新たに特設ゾーンとして「海外地域・都市ゾーン」が設けられる予定であり、JETROを始め、中国市場を目指す多くの日系企業、地方自治体が出展を予定しています。また、越境ECプラットフォームも今年から開設され、出展者はライブ配信やマッチング機能を活用して製品のアピール、販路拡大を行うことが可能です。



トピックス



海外現地展示会一覧

	カテゴリー 主要商材	イベント名	開催期間 過去出展数/来場数	イベント概要	公式 サイト
香港 Hong Kong 	農林水産・食品 酒類	HKTDC Hong Kong International Wine and Spirits Fair 2025	2025年11月6日～8日 600社以上(20ヵ国)/ 8,230人	本展示会は、過去20年にわたり開催されるアジア最大級の酒類。例年20の国と地域から約600の出展者が集結し、オーストラリア、チェコ共和国、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、日本、中国本土、南アフリカなど、16の国際パビリオンが設けられ、ワインの他、ビール、日本酒、焼酎、スピリッツ、ウイスキー等多くの商品が展示され、多数のバイヤーが参加。	
	産業 ベビー用品	HKTDC Hong Kong Baby Products Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12～15日 2,500社以上(34ヵ国)/ 26,516人	授乳・育児用品、ベビーカー・ギア、寝具・家具、ODMベビーカーなど、新生児向けの基本アイテムからマタニティ用品まで幅広く網羅したアジア最大級の展示会。前回は世界34の国と地域から2,500以上の出展者が参加し、最新のベビー用品、革新的な文具、斬新なおもちゃなどが出展され毎年開催。	
	産業 レトロニクス	HKTDC Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition) 2026	2026年4月13～16日 2,300社以上(20ヵ国)/ 53,149人	本展示会は、世界有数のエレクトロニクス市場として認知されている展示会。各パビリオン毎にジャンルが分かれ、主な展示品は5G・AIoT、スマートホーム、ロボティクス、モバイルアクセサリをはじめ、パーソナルロボット、健康テックなども展示。また、主催者である香港貿易発展局のオンライン商談プラットフォームにより、展示会後も出展者との連携が可能。	
上海 Shanghai 	農林水産・食品 食品関係	FHC Shanghai 2025	2025年11月12日～14日 2,750社/171,828人	国内最大級の国際食品・飲料の展示会。30年以上の歴史があり、輸入食品を中心に調味料から酒類まで幅広い分野が対象。ホテル、レストラン関係のバイヤーが集結し、中国市場への販路拡大の重要拠点として位置付けされている。	
	産業 自動車関連部品	Automechanika Shanghai 2025	2025年11月26日～29日 6,763社/222,341人	世界最大規模の自動車部品・整備機器関連の国際展示会。毎年、世界中から多数の出展者と来場者が集まり、取引や情報交流の場となっている。また、自動車産業の最新技術や製品の発表も毎年行われている。	
	医療・健康 ヘルスケア	CHINA AID 2026	2026年6月4日～6日 519社/76,591人	上海民政局と上海国際貿易推進委員会が主催する中国最大規模の介護福祉展示会。日本からも自治体、企業の多くが出展。高齢者産業の需要増加に伴い、注目度の高い展示会となっている。	
大連 Dairen 	その他 その他	第14回大連日本商品展覧会	2025年10月24日～26日 約300社/約60,000人	毎年定例開催の大連を代表する展示会。本展示会には、日本ブランドの商品を求めるバイヤーや消費者(アクティビティやその家族など)が多く訪れており、出展企業にとって大連の市場状況を理解しつつ、現地の販路開拓に繋げる機会になることが期待される。	
	伝統工芸品 日用陶磁器、アート・ギフト用陶磁器等	2025年中国(北京)国際精品陶磁器博覧会	2025年10月30日～11月2日 1,000社/20,000人	本年度の博覧会では、「日用・芸術陶磁器展」、「スマート衛生陶器・建築用陶磁器展」、および「特殊陶磁器産業チェーン全体展」の3つの併催展示会が開催。中でも「日用・芸術陶磁器展」は15,000㎡の広さで、企業間の技術交流等を促進する国際的なビジネス・交流のプラットフォームとなっている。	
	その他 アウトドア製品	ISPO Beijing 2026	2026年1月9日～11日 30,000人/500社	アジアの重要なプロスポーツ貿易プラットフォームで様々なカテゴリーが集まる見本市。アウトドアスポーツ、ウィンタースポーツ等におけるスポーツテクノロジー/新素材、キャンプライフとアーバンスポーツの国内外の有名ブランドが一堂に会する。	
台湾 Taiwan 	産業 情報通信・AI	第51回台北国際電子産業科技展 第8回台湾国際人工知能およびIoT展 (TAITRONICS&AIoT Taiwan 2025)	2025年10月22日～24日 318社/5,341人	世界でも最も歴史のある情報通信産業関連ビジネスの展示会。世界各国の専門バイヤーやサプライヤー等が参加。2025年のテーマは、「AIoT」、「ロボットおよびスマートオートメーション」、「スマートコントロール」、「スマートデータセンター」、「IoTの工業分野での応用」、「衛星通信」の6領域。	
	産業 エネルギー	台湾国際エネルギー見本市・ 台湾国際ネットゼロ見本市 (Energy Taiwan・Net-Zero Taiwan)	2025年10月29日～31日 1,625社/19,729人	グリーンエネルギーや再生可能エネルギー、カーボンニュートラルなど次世代エネルギーに関する製品や技術が一堂に会する台湾最大のエネルギー見本市。主催は、中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)および国際的な半導体の業界団体であるSEMIの下部組織であるGESA(Green Energy and Sustainability Alliance)。	
	趣味・教育 旅行	2025 ITF台北国際旅行博	2025年11月7日～10日 1,500社/364,563人	年後半に開催される旅行関連の展示会としては最大規模の展示会。主催は財団法人台湾観光協会。2024年は、世界111ヵ国・市町村をはじめ、旅行会社、航空会社、ホテル等が出展。また、旅行会社のブースでは多くのセール商品を販売しており、4日間の売上が12億円(約60億円)となった出展企業もあった。	
タイ Tai 	機械 電気・エネルギー	Powerex & Electric Asia 2025	2025年11月12日～14日 90社以上/不明	電力、発電、送電、電気機器、技術、供給に特化した展示会。電力や電気関連企業やサポート業界がバンコクに集結し、電力と電気業界の最新動向を紹介。	
	機械 金属部品・電子機器等	METALEX 2025 - Machine Tools & Metalworking Exhibition	2025年11月19日～22日 3,000社以上/101,937人	金属部品・製品製造、製造・加工、電気・電子製造、航空宇宙・自動車、部品製造関連の大規模な見本市。日系企業も多く出展しており、世界中から3,000を超えるブランドが集まる。	
	農林水産・食品 食品関係	JAPAN SELECTION 2026	2026年1月28日～29日 約50社/約3,000人	タイ現地の大手バイヤーが集結する日本産品のB2B総合見本市。農林水産品をはじめ、食品機械、IP(キャラクター)、インバウンド、伝統工芸品、化粧品など、日本の強みを即効性と効果的に輸出拡大を目指す。物流や現地販売許可の取得もサポート、初めての海外展開でも安心して参加可能。	
ベトナム Vietnam 	趣味・教育 ベビー用品・教育用品	CBMEVN25 Children Baby Maternity Industry Expo	2025年11月13日～15日 約250社/約6,000人	ベトナムの中でもニーズの高まるベビー・教育用品に特化したB2B展示会。国内外から250以上のブランドが出展予定。インド・中国・トルコにて20年以上の同様の展示会開催実績を持つInforma Marketsが主催。	
	産業 木製品	VietnamWood 2025	2025年11月19日～22日 320社/11,876人	ベトナムの木工産業を代表する展示会であり、その成功実績と強力な国際的プレゼンスで知られている。木工工程用の機械設備、CNC工作機械の製造・販売等、多様な展示カテゴリーを擁している。	
	農林水産・食品 食品	Vietnam Foodexpo 2025	2025年11月12日～15日 406社/19,863人	ベトナム政府主導による国内最大規模の食品関連イベント。ベトナム国内の主要食品メーカーと輸出業者が一堂に会し、各来場者の要望に合わせたビジネスマッチングサービスを含む、さまざまな貿易促進イベントやカンファレンスが開催される。	
シンガポール Singapore 	その他 映像	ATF 2025 Asia TV Forum & Market	2025年12月2日～5日 不明/4,628人	毎年開催される映像コンテンツの見本市・カンファレンス。主なバイヤーは東南アジア各国のTV局、機内エンターテインメント、インターネット放送。毎年総務省等関係省庁の連携の下、日本のコンテンツを発信するジャパンパビリオンも設置されている。	
	機械 航空関連機械など	Singapore Airshow 2026	2026年2月3日～8日 1500社以上/約50,000人	2年に1回開催されるアジア最大級の航空・宇宙関連(民間機、ビジネスジェット、ヘリコプター、軍用機など)の展示会。世界各国の政府高官や軍関係者、企業の上級幹部が集結。	
	機械 航空関連機械など	APM 2026 Asia Pacific Maritime	2026年3月25日～27日 710社/15,717人	2年に1回開催される海事業界(造船(船舶、作業艇)、海洋土木、港湾テクノロジー等)の展示会。日本からは日本海事協会(NK)を中心に船舶関連の部品・塗料メーカーなどで構成されるジャパンパビリオンが出展。	

その他海外の展示会情報は、こちらのJETROサイトをご参照ください。



Topics of the month

「2025年度FFG経営塾」を開講

グロース・ワン

2025年7月24日(木)、GROWTH IIにおいて、「2025年度FFG経営塾」を開講いたしました。

「GROWTH II」は、スタートアップ企業と地域企業が交わる場所としてFFGが2023年8月に設立した施設です。FFGの新たな価値を提供できればとの思いから昨年と同様に本会場にてFFG経営塾を開催しております。

「FFG経営塾」はFFG3行のお取引先企業の若手経営者や後継者の方々、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と、経営者同士のネットワーク作りを目的とした講座です。

初回はCNGWAYパートナーの石原由一朗氏いしはら ゆういちろうにご登壇いただき、「人を動かす経営」というテーマで、人間関係を築くポイントやエンゲージメントを高める組織づくりについて講義がありました。講師の石原氏による引き込まれるセミナーによ

り、受講者からも「コミュニケーションの重要性について改めて学ぶことができました」「具体的な事例と実践がありとても参考になりました」など好意的なコメ

ントをいただきました。

講義後の懇親会では、講師の石原氏をはじめFFGビジネスコンサルティング原田社長、各取引店長や担当行員も参加し、異



講義の様子



FFG 古澤部長のFFG経営塾開講挨拶



石原 由一朗 氏

業種交流で親睦を深めました。

原田社長からは「本日の研修で学んだことを会社に戻ってアウトプットし、第2回でも共有して身に着けていただきたいです。また、異業種の交流を通じて新しい価値が生まれることで、皆さま方のビジネスにお役立ちいただければと思います」と受講者を激励しました。

本塾は最終回の11月28日(金)まで、「人材マネジメント」「リーダーシップ」「コンプライアンス」「事業開発」「組織マネジメント」について学んでいただきます。

FFGは今後も「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」の存在意義のもと、九州の将来を担う地元経営者のために有益な情報、サービスの提供に努めてまいります。

FFG経営塾は、若手経営者や後継者、経営幹部の方々を対象に企業経営者に求められる幅広い知識の修得と、ネットワークづくりを狙いとした講座です。

2025年度FFG経営塾開催概要						
日程	第1回 2025年 7月24日(木)	第2回 2025年 8月21日(木)	第3回 2025年 9月11日(木)	第4回 2025年 10月9日(木)	第5回 2025年 11月6日(木)	第6回 2025年 11月28日(金)
テーマ	「人を動かす」 経営	人材 マネジメント	リーダーシップ	コンプライアンス	事業開発	組織マネジメント
講師	CNGWAY パートナー 石原 由一朗氏	アサヒグループ ホールディングス株式会社 社外取締役 佐藤 千佳氏	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和氏	長島・大野・常松法律事務所 弁護士 勝 伸幸氏	九州大学 経済学研究院 (ビジネススクールQBS) 教授 九州大学ロバート・フアン アントレプレナー(QREC)センター長 高田 仁氏	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・ キャリアコンサルタント 蒲田 善行氏



懇親会の様子



熊本銀行 佐藤部長の懇親会閉会挨拶



FFGビジネスコンサルティング 原田社長の懇親会開会挨拶

2025年度上期 「福岡銀行・熊本銀行ふるさと振興基金」 (助成金事業)の贈呈式を開催しました!

FFG文化芸術財団では、福岡、熊本の2県において文化活動を通して地域に貢献している団体・個人に対して、活動資金を助成する「ふるさと振興基金」(助成金事業)を行っており、2025年度上期の助成先選ばれた15団体への贈呈式を開催しました。

FFG文化芸術財団は、FFGの一員として、教育・文化活動を通して幅広く地域社会に貢献することを目的に活動しています。

本助成金事業は、福岡県・熊本県で文化活動を通して地域に貢献している団体または個人へ助成することにより、地域文化の発展・振興に寄与することを目的としています。

2025年度上期には、応募いただいた中から15団体への助成を決定し、贈呈式を開催いたしました。なお、次回2025年度下期の募集時期は2025年11月を予定しています。

FFGならびにFFG文化芸術財団は、地域に真のゆたかさを提供する活動を継続してまいります。

助成金贈呈式リスト

基金名	事業分野	助成先名
福岡銀行 ふるさと 振興基金 (6件)	文化活動	福岡ジルベスターコンサート実行委員会
	文化活動	福岡市美術連盟
	文化活動	久留米ちくご大歌舞伎実行委員会
	文化活動	コタケミュージックカンパニー
	文化活動	Mr.daydreamer
	文化活動	平尾小金管バンド同好会
熊本銀行 ふるさと 振興基金 (9件)	地域活動	あさぎり町和太鼓保存会
	環境活動	小山山里山づくり協議会
	郷土芸能	並建雅楽会
	郷土芸能	上荒尾熊野座神社神楽保存会
	文化活動	「『草枕』の玉手箱」30周年記念誌製作実行委員会
	文化活動	馬見原街づくり協議会
	文化活動	公益財団法人島田美術館
	学校教育	山鹿市立山鹿小学校
	郷土芸能	熊本近代史研究会

※なお、グループ行である十八親和銀行では「(公財)十八親和ふるさと振興基金」を通じて、長崎県内における地域教育、科学、文化、スポーツ、社会生活環境の整備及び国際化等に関する活動に必要な助成を行っています。

ふるさと振興基金
募集要項はこちら



2025年度下期の申込期間は2025年11月～12月中旬を予定しています。

※ホームページの申込期間は10月末に更新予定

福岡銀行ふるさと振興基金



福岡ジルベスターコンサート実行委員会



福岡市美術連盟



久留米ちくご大歌舞伎実行委員会



コタケミュージックカンパニー



Mr.daydreamer

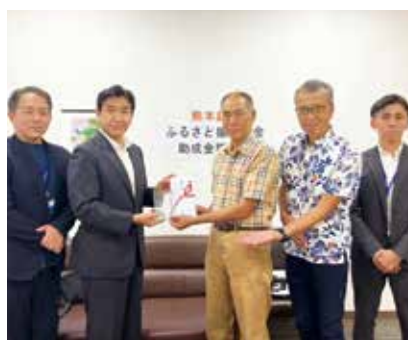


平尾小金管バンド同好会

熊本銀行ふるさと振興基金



あさぎり町和太鼓保存会



小山山里山づくり協議会



並建雅楽会



上荒尾熊野座神社神楽保存会



『「草枕」の玉手箱』30周年記念誌製作実行委員会



馬見原街づくり協議会



公益財団法人島田美術館



山鹿市立山鹿小学校



熊本近代史研究会

Topics of the month

SDGs私募債の寄付金贈呈式を開催しました

FFGは、SDGsへの取り組みの一環として、グループ3行で募集したSDGs私募債発行による収益金の一部の寄付を行い、贈呈式を開催しました。



左:福岡銀行 藤井常務/右:(社福)福岡県共同募金会 徳永常務理事



左:熊本銀行 上村専務/右:(社福)熊本県共同募金会 平山常務理事



左:(社福)長崎県共同募金会 野嶋常務理事/右:十八親和銀行 帯田常務

私募債とは、一定の財務水準を満たした企業が、直接金融による資金調達を目的に発行する社債です。その中でもSDGs私募債は、グループ3行で私募債を発行されたお客さまからいただく収益金の一部をSDGsに資する団体等へ寄付する商品です。

FFGの3行がそれぞれの地域の一員として、地域の抱える課題解決に向けてお取引先とともに取り組むことを目的として、私募債を発行されたお取引先からいただいた収益金の一部をSDGsに資する団体等に寄付いたしました。

今後も、FFGの存在意義

である「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」を実践するとともに、お客さまのさまざまなニーズにお応えし、今後地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

黒潮洗う 断崖の「下り宮」



▲上.参道を下れば本殿／下.本殿

▲上.楼門／下.日向灘に面した断崖



●鵜戸神宮

住所：
宮崎県日南市
宮浦3232



気候が穏やかな宮崎はプロ野球の春季キャンプ地として人気があり、多くの見学者が訪れる。かつてはハネムーンのメッカとして賑わった日南の海は今もキラキラと輝いている。

青島から都井岬に続く日南海岸に建つ鵜戸^{うど}神宮は、海の神社だ。一番遠い駐車場から石段を上り、「千と千尋の神隠し」に出てきそうな人専用のトンネルを抜け八丁坂を下れば、朱塗りの神門・楼門が迎えてくれる。日向灘の波に洗われる奇岩を眺めながら、断崖を下ると海食洞の中に神秘的な本殿が現れる。眼下の的に入れば願いが叶うという名物の「運玉」は、ことごとく外れているがみな笑顔だ。

サーフィンスポットが点在するサーファー憧れの地は、リモートワークや子育てで支援の影響か、全国からの移住者も増えている。

(文・阿井川 圭)

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

みなみにほん
南日本ハウス株式会社

代表取締役社長
もとやま とよじ
元山豊二氏

取引店／熊本銀行 鹿児島支店

人と地域をつなぐ、
あたたかな住まいづくり

当社は鹿児島市に本社を構える地域のハウスメーカーです。お客さま一人ひとりの人生に寄り添い、豊かな未来を築くことを使命とし、地域密着型の不動産仲介業・建設業を主として事業を行ってきました。前代表者である元山豊一（現・会長）が1985年に創業後、本店・伊敷店・谷山店の3店舗で運営し、地域住民との信頼関係を築きながら安心・安全・快適な住まいづくりを追求しています。

現在では、従来からの不動産事業や住宅関連事業に加え、2013年より太陽光発電事業、



南日本ハウス本社

2017年より飲食事業、2024年にはホテル事業にも参入し、事業の多角化を行いながら事業規模の拡大を進めています。

当社の主業務である「南日本の家づくり」では、お客さまが人生のすべてのステージで住み続けていくために「つよさ」「快適性」「アフター」を重視しています。不動産売買仲介においては、ハウズドゥ加盟店として全国707店舗中（2025年1月時点）、2024年間仲介売上実績で谷山店が全国4位、本店が全国7位、伊敷店が全国8位を獲得するなど、地域のお客さまから厚い信頼をいただいております。

南日本ハウスの大規模木造建築

当社は2025年5月、持続可能な社会への貢献と、より豊かな地域社会の実現を目指し、大規模木造建築事業の専門ブランド「南日本ハウスの大規模木造建築」を立ち上げました。これは、住宅・不動産事業で培ったノウハウと不動産ネットワークを活かし、法人施設の建築需要拡大に対応していくための一歩です。

近年の木造建築技術は目覚ましく、大規模な

建物も木造で実現可能です。当社は、お客さまの事業の継続・拡大を支える「手段」として、環境配慮（CO₂排出量削減、脱炭素社会貢献）、コスト最適化（工期短縮等によるコストメリット創出）、事業継続性（耐震・耐火性に優れ、BCP対策に有効）、従業員満足度向上（木の温もりが働く人に安らぎを提供）、企業イメージ向上（CSR活動として企業価値向上に貢献）といったメリットを持つ大規模木造建築をご提案しています。

設計から施工、アフターメンテナンスまでワンストップで対応し、お客さまの想いを反映した、高品質な建築物を実現します。

一期一会の精神のもと、 私たちは常に精神誠意を尽くす

年月が経つにつれて、生活スタイルは変わっていきます。そんなとき、様々なご相談に乗ることができ、お客さまの生活にできるだけ寄り添っていけるような住まいの「トータルコーディネーター」が当社の目指す場所です。

また、企業としての「南日本ハウス」はチャレンジを忘れず、私たちは木造建築を通じて、

「一期一会」の精神で、お客さま、そして地域との出会いを大切にし、誠心誠意、安心・安全・快適な建築物をご提供、住まいと大規模木造建築の「トータルコーディネーター」として、お客さまに寄り添い、様々なご相談に対応できる企業を目指します。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
（左から熊本銀行 若松常務、元山豊二社長、元山豊一会長、熊本銀行鹿児島支店 馬水支店長）

南日本ハウス 株式会社

■本社所在地：〒890-0055 鹿児島市上荒田町38-8

■電話番号：099-285-0888

■事業内容：不動産仲介業、建設業、リフォーム事業、太陽光事業、飲食業、ホテル業

■事業所：伊敷店…鹿児島市下伊敷1丁目46-16
谷山店…鹿児島市東谷山1丁目59-2



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

株式会社 亮 りょう

土木工事を主とする建設業を創業
様々な事業を展開する総合企業へ

当社は1979年に「亮建設」として創業、創業時から舗装工事を中心とした土木工事を中核事業として行っています。近年では2020年に二級建築士事務所の登録を行って受注工事の幅を広げ、2022年には宅地建物取引業の免許を取得して自社で宅地の売買が可能となりました。土地の購入・宅地造成・販売を一貫してできる体制を整えたことにより、現在では宅地の造成・販売を積極的に手掛けて事業を拡大しています。また当社は創業から数年後の1985年にゴルフ練習場を開設、スポーツ施設事業を開始しま

代表取締役

小野 英章氏 おの ひで あき

取引店／十八親和銀行 諫早駅前中央支店

した。1997年には飲食事業を開始、さらに集合住宅やテナント物件など、賃貸物件を数件所有して不動産賃貸業を行うほか、社有地を活用して太陽光発電による売電事業を行うなど、地域社会を支える事業活動を行っています。



当社の施工例（舗装部分）

様々な業態の飲食店を展開
趣向やニーズに合わせ業態を変化

飲食事業における第一号店は諫早市高城町にオープンした割烹・懷石料理店「秋津島」です。以降、様々な業態の店舗を展開し、現在ではカフェ店を2店舗、焼肉店を1店舗、肴・鮨店を1店舗経営しています。2022年にオープンしたEspresso D Works諫早店や2023年にJR長崎駅のアミューズプラザ新館にオープンしたflower+water／DRA7長崎は人気のカフェ店で、おかげさまで連日開店から閉店まで多くのお客さまで賑わっています。2025年12月にはさせば5番街にEspresso D Works佐世保の新店を予定しています。

飲食事業は建設事業とともに当社の中核事業として積極的に事業展開していきたいと考えており、今後も業態に拘らず年間1店舗程度の新規出店をしていきたいと思っています。



Espresso D Works諫早店

建設発生土リサイクル事業を開始 環境への配慮と同時に事業を拡大

土木工事で発生するものは、大きく建設発生土、産業廃棄物、一般廃棄物に分けられます。そのうち建設発生土は建設副産物として取り扱われ、再資源化のため主に埋め立てや盛土の材料として再利用されます。通常ストックヤードと呼ばれる処理施設に搬入・保管され、その後再度建設業者へ搬出・納入されることとなります。

当社は新規事業としてストックヤード（リサイクル場）用地を確保し、建設発生土リサイクル事業を開始、2025年5月に発生土の受入れを始めました。自社の事業を拡大するとともに、地域経済や循環型経済（サーキュラーエコノミー）への貢献を目指しています。

「まちの幸せが私たちの幸せ」 人、地域、未来をつなぐ架け橋に

当社は創業以来諫早の地に根を張り、「まちの未来を築く」という信念のもと、建設業を中心に事業活動を行ってきました。飲食事業や

スポーツ施設事業など、事業の多角化を進めたのも「毎日人々が食べたいものを食べられる店を」という想いや、「諫早にないなら自身で作ろう」との考えで事業活動を行ってきた結果です。2030年に当社は創業50周年を迎えます。今後も社員一丸となって、心をひとつに、地元諫早のために、そして次の時代を担うすべての人々のために、力強く前進していきたいと思っています。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
（左から小野社長、十八親和銀行諫早駅前中央支店 岩井支店長）

株式会社 亮

■本社所在地：〒854-0034 長崎県諫早市小野町341 0957-23-0710(代表)

■事業内容：特定建設業（一般土木工事／舗装工事／設計施工管理）、飲食事業、スポーツ施設事業
太陽光発電事業、不動産開発事業、不動産賃貸業

店 舗
■Espresso D Works諫早店
■flour+water/DRA7長崎
■焼肉ホルモンおのだ
■鮎肴 草
■RYOゴルフガーデン

〒854-0034 長崎県諫早市小野町382-1
〒850-0058 長崎市尾上町1-1 アミュプラザ長崎新館1F
〒854-0001 長崎県諫早市福田町6-26
〒854-0061 長崎県諫早市宇都町240-117
〒854-0055 長崎県諫早市栗面町539

0957-47-8081
095-801-0410
0957-35-8555
0957-46-6220
0957-23-4712

会社HP



飲食HP



FFGでは企業のESG／SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDGsコンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

はくあいどう

博愛堂ファーマシー

株式会社

代表取締役社長

みず た しん いち ろう

水田 晋一朗氏

取引店／十八親和銀行 島原中央支店

地域に根付いた医療サービスを提供
人々の健康と安心を支える

当社は2013年に設立、「地域の患者様に寄り添う薬局」をコンセプトに調剤薬局の運営を開始しました。その後は後継者不在の薬局の事業承継や、取引先や医療機関・医師からの紹介により店舗を増やし、現在では島原半島を中心に7店舗の調剤薬局を展開して地域医療の一翼を担う企業として成長を続けています。

創業以来、「地域の人々の健康と安心を支える薬局でありたい」という考えのもと、単なる調剤薬の提供にとどまらず、患者様一人ひとりに寄り添った服薬指導や健康相談、在宅医療支援など、



はくあい堂薬局

きめ細かいサービスを提供してきました。今後も当社の考えに賛同いただける取引先を増やしながら、店舗網を拡大していきたいと思っています。

東そのぎインター薬局を開局
地域医療への貢献

2025年5月、長崎県東彼杵町に「はくあい堂東そのぎインター薬局」を新たに開局しました。この薬局は地域住民の利便性を高めるだけでなく、訪問薬剤管理指導などの在宅医療サービスにも対応し、地域の高齢化や医療ニーズの多様化に応える拠点としての運営を考えています。

これまでの薬局はそれぞれの地域の特色に合わせてデザインしてきましたが、本薬局は今後「はくあい堂」として統一感を出していく、試験的な設計を行っています。「おしゃれなインテリアショップ」をコンセプトにデザインして、患者様以外の地域住民の皆さまも気軽に立ち寄れる薬局を目指しています。



はくあい堂東そのぎインター薬局

地域包括ケアシステムの実現 地域とともに成長する企業を目指す

近年、日本の医療を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。超高齢社会の進行に伴い医療費は増大し、国の財政は一層厳しさを増しています。その結果、病床数の削減や医療提供体制の見直しが進み、地域で利用できる医療資源は限られたものとなります。こうした社会の変化に対応するためには、地域の中で新しい医療のかたちを築いていくことが求められています。

私たち博愛堂ファーマシーは、薬局を単なる「薬を受け取る場所」ととどめるのではなく、地域の暮らしを支える拠点として進化させていくことを使命としています。在宅医療への取り組みはすでに広がっていますが、人口減少が進むにつれ医療は必ず逼迫していきます。そのような中でも、通院が難しい方やご自宅で療養される方にとって「最後まで安心して頼れる薬局」であり続けたいと考えています。

その根底にあるのは、患者様の「貴重な時間をいただいている」という感謝の思いです。お一人お一人の病と向き合う時間を少しでも軽くし、安心した日常を過ごしていただけるようにすることが、私たちの役割だと信じています。そのために

健康サポート薬局・地域連携薬局としての登録を進め、医療に関わるすべての方々と連携しながら、地域包括ケアの一翼を担ってまいります。

創業以来大切にしてきた「感謝の心を忘れず、与えられた時間を最大限に活かせる人材を育てる」という理念のもと、仲間と共に歩み、地域の皆さまに支えていただきながら現在の体制を築いてきました。今回のポジティブ・インパクト・ファイナンスによる資金調達も、地域医療の未来に責任を果たしていくための新たな一歩です。これからも「すべての人の健康のために」という使命を胸に、地域と共に考え、共に歩み、共に成長していける企業であり続けます。



〈FFG〉ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の証、記念楯を贈呈
(左から水田社長、十八親和銀行島原中央支店 高橋支店長)

博愛堂ファーマシー 株式会社

■本社所在地：〒859-2203 長崎県島原市新湊1丁目42 0957-73-9811(代表)

■事業内容：保険調剤薬局の経営、医薬品・医薬部外品・化粧品及び医療器具の販売 他

店舗

■はくあい堂薬局	〒855-0862 長崎県島原市新湊1丁目42	0957-73-9811
■はくあい堂新田薬局	〒855-0043 長崎県島原市新田町587-13	0957-65-0210
■はくあい堂くちのつ薬局	〒859-2502 長崎県南島原市口之津町甲2159-15	0957-61-0120
■はくあい堂しんわ薬局	〒855-0863 長崎県島原市親和町丁3565-8	0957-61-0028
■はくあい堂諫早かわとこ薬局	〒854-0052 長崎県諫早市川床町376-1	0957-47-5183
■はくあい堂東そのぎインター薬局	〒859-3807 長崎県東彼杵郡東彼杵町彼杵宿郷420-1	0957-46-6224
■はくあい堂長崎なめし薬局	〒852-8061 長崎市滑石5丁目5-24 1階	095-801-1533



FFGでは企業のESG/SDGsの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
ソリューション事業本部 インダストリーカバレッジグループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2525

サステナビリティに
関することは何でも
ご相談ください

お城巡りが趣味の中野支店長が実際に行った日本全国のお城を紹介

Vol.11 関東編②

お城巡り



やるな、秀吉 **1** いしがきやまじょう **石垣山城**

続日本100名城
No.126

【住所】神奈川県小田原市早川1383-12

【電話】0465-23-1373(小田原城総合管理事務所)

2023年2月登城。目と鼻の先にある小田原城とセットで登城するのだが、続日本100名城スタンプラリー本を購入したのが小田原城登城後だったので…。豊臣秀吉による小田原征伐時、短期間で築城された別名「一夜城」。おびたしい石垣群が当時の姿を彷彿させる(写真①)。眼下には小田原城のある小田原市街と相模湾を一望(写真②)。



石垣山城HP



「日本100名城」は公益財団法人 日本城郭協会が2006年に定めた日本の名城100選です。現在は「続日本100名城」も選定されています。



公益財団法人
日本城郭協会 HP



日本100名城
No.17

当時の最先端 **2** かなやまじょう **金山城**

【住所】群馬県太田市金山町40-106ほか

【電話】0276-20-7090

(太田市教育委員会文化財課)

2021年11月登城。同年9月、コロナ緊急事態宣言が解除となったので関東初上陸。戦国時代の関東山城において本格的な石垣があるのは珍しく、排水路も備えた大手虎口と黄葉した大樹が見事(写真③)。名物の太田焼きそばもテイクアウトして堪能(写真④)。



金山城HP

私がご案内します!



福岡銀行 野芥支店
なかの みのる
中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から添田支店の支店長、2025年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城を踏破。公益財団法人 日本城郭協会から登城認定を受ける。



日本100名城
No.14

満喫しすぎ! **3** みとじょう **水戸城**

【住所】茨城県水戸市三の丸2丁目地内

【電話】029-306-8132(水戸市歴史文化財課)

2021年11月登城。前年2月復元された大手門(写真⑤)の前ではイベント開催中(写真⑥)。登城前には牛久大仏(写真⑦)へ参詣。草津温泉で湯もみ体験(写真⑧)したり、戦国ゲーム仲間とオフ会(写真⑨)したりとフル活動。



水戸城HP



番外編



八犬伝の舞台

4 たてやまじょう **館山城** 【住所】千葉県館山市館山362番地先
【電話】0470-22-8854(城山公園管理事務所)

2023年2月登城。アクアラインを渡り、房総半島にある南総里見八犬伝でおなじみのお城(写真⑩)。城内の展示も八犬伝にまつわるもので溢れており存分に楽しんだ。帰りには寿司・さんが焼き《味噌といっしょになめろうを焼いた郷土料理》を堪能(写真⑪)。



館山城HP



※本ページの掲載内容は訪問当時のものです。※「日本100名城」は公益財団法人日本城郭協会が定めた呼称です。

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、長崎歴史文化博物館 館長 水嶋 英治様より『深化する長崎歴史文化博物館を目指して～博物館の20年～』と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



ながさき経済web画面

お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



深化する長崎歴史文化博物館を目指して ～博物館の20年～

長崎歴史文化博物館 館長 みずしま えい じ 水嶋 英治

博物館の象徴ともいえる長崎奉行所の復元建築も、歳月の流れとともに少しずつ地域に溶け込み、「諏訪の森」の風景の重要な一コマになった。人格同様、建物の風格を醸し出すには時間がかかるが、20年の歴史を刻む地域のモニュメントになっていくことに思いを馳せながら、私は小さな喜びを感じている。博物館を人生に例えれば、今年で20歳。11月3日の文化の日に、ようやく成人式を迎えることができる。「光陰矢の如し」と言われるように、あっという間の20年だった。

もちろん、博物館運営は毎日が行錯誤の連続である。しかし、大堀初代館長と同じように、お客さまの目線、来館者本位の運営は開館当初から変わっていない。博物館の大先輩たちから見れば、私たちはまだ鼻たれ小僧の館かもしれないが、これからも組織的な成長目標を高く設定し、日々努力していくつもりである。本稿では、20年を振り返り、文化遺産継承の責任と重みについて

述べてみたい。

「記憶の場」の重み

長崎歴史文化博物館の使命に記されているように、当館は「多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する」場である。「場」である以上、当然のことながら、人々が人々と出会い、歴史と文化に出会い、過去と未来に出会う場である。「人」と「歴史」と文化「過去と未来」、この3つの出会いができる「場所」、それが博物館である。

この場所に「立山奉行所」が存在していたという事実、ピエール・ノラ(1)の言葉を借りれば「記憶の場」である。建築史的に言うならば、「場所性」という極めて重要な概念が重なり合う場所、これが博物館としての存在価値のひとつであろう。類まれな場所であることは、その風格を見れば一目瞭然である。

長崎奉行所は、文化5年(1808)に作成された「長崎諸官衙絵図面」



Profile

長崎歴史文化博物館
館長 水嶋 英治

2018年から長崎歴史文化博物館館長。前・筑波大学教授。日本ミュージアム・マネジメント学会名誉会長。博士(世界遺産学)。東京理科大学理工学部卒。フランス国立文化財学院(博物館学)修了。チェコスロバキアJEPルキーネ大学大学院哲学研究科短期留学。筑波大学大学院修士課程(芸術学研究科)、同博士後期課程(世界文化遺産学)修了。

を基本に、さまざまな歴史資料や幕末に撮影された古写真などをもとに復元整備された(写真1)。建設時に旧・長崎奉行所の石垣、石段、庭園などの遺構が出土したため、石段は組みなおし補強され、奉行所門側のエントランスとして活用しているが、遺構保存の観点から17世紀当時の石材も使用され、石垣も復元されている。まさに「保存」と「活用」である。

私は、この「歴史の重み」「場所性の重み」、別の言葉で表現すれば、1673年に開設された長崎奉行所立山役所が「歴史の証言の場」で



写真1:長崎歴史文化博物館の全景 手前が長崎奉行所の復元建築、奥が博物館
(黒川紀章建築都市設計事務所)



写真2:1965年当時の旧長崎県立美術博物館 (出典<https://umemuragumi.com/>)

あること、架空の場所ではなく、
真実の場であること、長崎の歴史と
伝統の上に成り立つ「精神文化の環
境」として常に捉えている。

場所だけではない。動産資料であ
る歴史的記録文書、例えば「犯科
帳」のような貴重な文書史料を保

存・収蔵していることも特筆に値す
る。8万点以上に及ぶ歴史資料を所
蔵していることを考えれば、文化遺
産継承の責任とその重さを感じてい
るのは、私一人ではない。博物館職
員一同感じているところである。

(1)ピエール・ノラ(Pierre Nora)は、フラ
ンスの歴史学者。記憶と歴史の関係を探
究する分野において先駆的な役割を果
たした。代表作『記憶の場』(Les Lieux
de Mémoire)は、歴史的記憶が物理
的・象徴的な「場」によって保持・再構築さ
れるという概念を提唱し、国民意識の形
成と文化的記憶のあり方を多角的に分
析した大著。

博物館の源流

さて、当館は博物館の前身である
「長崎県立美術博物館」と「長崎市立
博物館」、「長崎県立図書館郷土課」
の3つの組織が三位一体となつてで
きた博物館である(図1)。収蔵資料
のコレクションも大編成を行った。

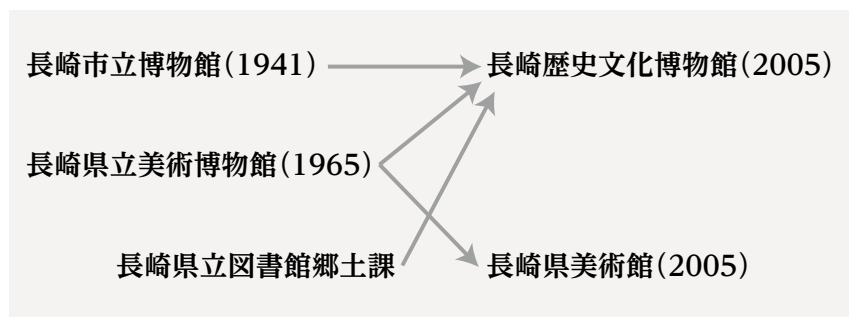


図1:博物館・美術館の系譜



ひとつ目のコレクションは旧長崎県立美術博物館（1965年開館、写真2）が収蔵していた江戸時代以前の美術作品・歴史資料、ふたつ目のコレクションは旧長崎県立博物館（1941年開館）の収蔵品、そして第3のコレクションは県立長崎図書館郷土課で管理してきた古文書・歴史資料（写真3）。この3つのコレクションを一堂に集め、開館した博物館である。とはいえ、美術館と歴史文化博物館の間で、それまで収蔵していた3つのコレクション・約5,000点（当時）の資料をどのよ



写真3:江戸時代の裁判記録「犯科帳」は貴重な歴史遺産である（17～19世紀）（出典：長崎歴史文化博物館）

うに分担するののかという根本的な課題もあったように聞く。両館の性格などさまざまな議論を経て、「基本として歴史資料および江戸以前の美術資料を歴史文化博物館で継承する」として、約2,000点の資料が移管された。

一方、長崎県立博物館の前身は1897年（明治30年）2月6日に開設された商品陳列場である。1941年（昭和16年）には、長崎公園内の旧・商工奨励館を改装し、博物館として開設された。このように、長崎奉行所の開設から数えると350年以上の歴史を持ち、商品陳列場の開設から数えると123年の歳月が流れている。この時間の流れを思うと、20周年を喜ぶだけではなく、350年近くの歴史の重みを感じる。この重みに耐え、さらに100年先、200年先の世代に對しても、今日の我々に与えられた責任をつがなく継承していかねばならないと考える次第である。

歴史と責任の重み

問題は、そうした「歴史資料をどのように保存しつつ、長期にわたって活用していくか」という博物館運営の課題に直結している。世代から世代へと継承されていくべきモノとコト。過去から未来へ伝えていくべき歴史資料と文化。これらを守り、次世代に継承していくことが長崎県、長崎市、そして私と指定管理者（乃村工藝社）の責任である。

しかし、この責任は、行政、博物館だけでできるわけではない。国も、関係の市町村も、地域住民も、一体となつて文化財の保存と活用を推進していくことが必要である。その意味では、長崎県の中核的博物館としての責任を、同時に果たしていかねばならない。私たちは、自分の博物館だけを考えるのではなく、長崎県内外の博物館との連携を強化し、観光客にとつて町全体が博物館となるような文化政策、博物館政策を推進していかなければならない。つま

り、「単館思考」に固執することなく、長崎県域全体の主導的役割を担う責任も、これまた大きいものがある。

博物館の使命

歴史文化博物館の使命を達成するためには、この立山にある博物館という「場」を活用し、提供するサービスの質を高めることに尽きる。地域連携事業、教育普及事業・生涯学習支援事業、展覧会事業、歴史資料の保存・修復、観光促進、マーケティング事業、国際広報を含めた情報の世界発信など、どれひとつとつても欠かせない事業ばかりである。

ところで、ここで少し話題を変え、博物館の現状と課題について述べておきたい。まず入館者数（図2）であるが、開館から今日（2025年5月末現在）に至るまで通算累計で約82.8万人のお客さまが来館している。なかでも、外国からのお客さまの国籍をみると、コロナ前の2019年は69か国に及んでおり、

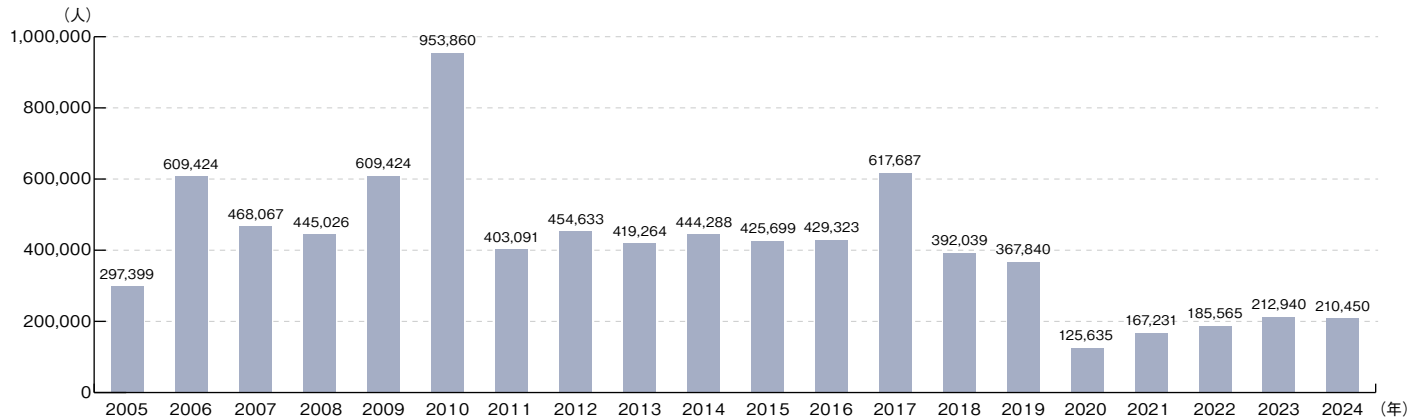


図2:開館2005年から2024年までの総入館者数の推移

また直近の2025年5月にも47か国から当館を訪れている。これまで開催してきた展覧会は100回以上に及ぶが、インバウンドを重視すれば常設展示の質的向上と外国語対応、長崎県民や日本人観光客を意識すれば特別展示の充実化に努めることが課題である。

収蔵資料(歴史資料)の管理と保存

前述したように当館の収蔵物は、旧長崎県立美術博物館の江戸時代以前の美術作品・歴史資料群、旧長崎市立博物館が収蔵していた資料群、県立長崎図書館郷土課の3館のコレクション群(資料群)から構成されている。指定文化財も相当数所蔵しており、たとえば安政2年「日蘭条約書」、長崎奉行所関係資料(1,242点)など国指定重要文化財のほかに、青方文書(国指定・長崎県指定文化財)、紙本著色(南蛮人來朝図之屏風(国指定旧重要美術

品)、上野彦馬使用写真機(日本化学遺産)、シーボルトのカメラ(専属絵師)と呼ばれた川原慶賀筆による唐蘭館図など、特色のある収蔵品が多い。

当館(分館である「旧香港上海銀行長崎支店記念館及び長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」の資料を含む)と長崎県美術館に収蔵されている全資料については、一括検索がデータベース(インターネット上)で可能である。

また、収集に関しては基本方針が定められており、以下の条件を満たす資料が収集・収蔵される。

- 長崎の海外交流史に関する資料
- 近世長崎の美術作品・工芸作品
- 長崎奉行所に関する資料
- 長崎文化に関する資料

当然のことながら、全国の博物館関係機関への収蔵品資料の貸出も多い。このほか、情報時代を反映してか、当館が所有する画像の貸出も多く、年間500〜600件の画像データを博物館・行政・マスコミ・出

版・教育関係に貸し出している。

脆弱な歴史資料や劣化がひどい資料は、博物館の保存修復の専門家が毎年修復・修理を行っている(写真4)。美術工芸品(掛軸・屏風)の剥落止めや裏打ちや古文書の裏打ち、脱酸処理などを行っており、2023年度の実績では美術工芸品は7件33点、古文書修復は63点(県所蔵資料29点、市所蔵資料34点)



写真4:修復作業の様子 博物館の保存修復の専門家によって毎年傷んだ資料を保存修復している。(写真:長崎歴史文化博物館)



写真5:復元された長崎奉行所のお白洲(奉行が裁きを行う場所、現在の裁判所)では、毎日曜日、地元の寸劇ボランティアによって「犯科帳」を題材にした歴史的イベントが演じられている。開館以来公演回数は8,000回を超えた。(写真:長崎歴史文化博物館)

である。時間がかかる作業のため、それほど点数としては多くないが、継続的に複数年計画で修復を実施している博物館は日本でも極めて珍しい。

展示活動

博物館機能のうち、常設展示は博物館の顔であり、最も注目を集めるところである。長崎歴史文化博物館の常設展示は「歴史文化展示ゾーン」と「長崎奉行所ゾーン(写真5)」に大別される。展示を構成するストーリーは、「西洋との出会い」から始まり、「朝鮮との交流」を経て、中国やオランダとの貿易で賑わう長崎を紹介し、蘭学をはじめとする「知の都」から近代へ移る道のりを時間軸に沿って示している。

教育活動

展示と同様、教育活動は博物館機能の要である。主として当館の博

物館教育は、一般向け、学校向け、子供向けの3つの対象層に分けて実施している。一般向け事業は、成人を対象とした教育プログラムで、長崎県の歴史・文化について理解を深めるために「れきぶん長崎学講座」、「文化財セミナー」、「古文書講座」、「スタディツアー」を実施している。講師は博物館の研究員(学芸員)と外部の客員研究員等が担当している。これらの講座のほかに、学校向けの教育活動として「協力校・パートナーズプログラム」がある。これは博學連携の一環として2か月に1回学校教員を対象とした研修会を開催し、当館を利用するための授業の実践方法について情報交換を行うプログラムである。その他にも、長崎県は離島が多いため、当館から学校に向けてインターネットを利用した「遠隔授業」を行っている。



調査研究

博物館の調査研究は、学術論文を執筆するのが主目的ではなく、常設展示や特別展の準備過程において所在調査や作品調査、資料研究

を行うことが多い。(もちろん最終的には論文の形で『研究紀要』に執筆・投稿することもある)。

長崎学に関する研究は当館の研究員のほかに、研究プロジェクトチームを結成してチーム全体で研究する



写真6:学校連携の様子博物館と学校が連携して展示物を解説している教育担当の研究員 (写真:長崎歴史文化博物館)

場合もある。近年に実施した調査研究

事業では、長崎の美術工芸に関する研究(隠元禅師、黄檗文化等)、

川原慶賀が描いたと思われる長崎

港の屏風の海外資料調査(オランダ・ライデン国立民族学博物館)、

ユネスコ世界記憶遺産登録資料に

関する海外調査(韓国・釜山市)、

日中・日朝・日蘭交流史などである。

調査研究は当館の研究員(学芸員)だけで推進するにはマンパワーが

足りない面もあるため、客員研究員

制度を設け、外部の研究員と共同

研究できる環境も整えている。

研究できる環境も整えている。

結語

数年先を見据えて

「場」の変化に対応すること

期が来るだろう。

一般論としていえば、博物館は、

建築、展示のリニューアルの過程を経

て、その機能、建築、情報空間の新しい

概念、新しい展示技術が生み出されていく。今日、博物館は資料のデジ

タルアーカイブ化、観光開発の波

に踊らされる一方で、有形資産とし

てのコレクションを如何に経済活動

の中核として「商品化」するか、ある

いは情報化・デジタル化するかが求められている。

来館者が物理的に出会う「場」

が、情報空間の「場」へと変化して

いくのは時代の流れであり、誰も抵抗

できない。そして、その「場の変化」は

情報化だけではなく、歴史資料の

「保存の場」から、新しい制度的概念

としての「観光の場」に現在変容して

いることは間違いない。こうした時

代の流れにあわせて、私たちの博物

館も次の20年を見通して対応して

いかなければならないだろう。

いかなければならないだろう。

いかなければならないだろう。



長崎古版画《阿蘭陀人巡見之図》木版画

動物を題材とした美術品を紹介する 秋季企画展を開催中

弊ギャラリーでは9月12日(金)から11月1日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1において、秋季企画展「象られた動物たち」を開催しています。

人の暮らしに身近な動物や、普段は目にすることができない動物など、絵画をはじめとする美術品には様々な動物の姿が描かれてきました。本展では、ダチョウや白象が登場する「長崎古版画」をはじめ、棟方志功、サルバドル・ダリなどの版画のほか、油彩画、日本画、貝殻絵による作品9点をご紹介します。このうち4点は初公開となります。

また、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります。

「長崎古版画」は、江戸時代に異国からもたらされた生活習慣や調度品、動物などを主題にした木版画で、土産物として人気を博しました。本作には、白象に乗るオランダ人と鼓笛隊が描かれています。

※本展で公開する「長崎古版画」は、長崎市立博物館(現、長崎歴史文化博物館)所蔵の版木を用いて1960年代半ばに後刷りされたものです。

十八親和アートギャラリー

[開館時間] 10:00~16:00(入館は15:30まで)

[休館日] 日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

鑑賞
無料



開催中

2025年11月1日(土)まで

象られた動物たち

かたど

秋季企画展

Juhachi-Shinwa Art Gallery Autumn Exhibition